

**平成29年度**

**教育委員会事務事業点検・評価報告書**

**(平成28年度分)**

**寒河江市教育委員会**

## 目 次

|     |                         |    |
|-----|-------------------------|----|
| I   | 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について | 1  |
| 1.  | 制度の概要及び目的               | 1  |
| 2.  | 点検・評価の対象事業              | 1  |
| 3.  | 点検・評価の方法                | 1  |
| 4.  | 学識経験者の知見の活用             | 1  |
| II  | 教育委員会の活動状況              | 2  |
| 1.  | 教育委員会の開催                | 2  |
| 2.  | 教育委員会協議会の開催             | 3  |
| 3.  | 教育委員会会議以外の活動            | 4  |
| III | 施策の体系                   | 5  |
| IV  | 外部評価委員の意見               | 7  |
| 1.  | 総括                      | 7  |
| 2.  | 施策ごとの意見                 | 7  |
| V   | 点検・評価対象事業一覧             | 15 |
|     | 【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】 | 17 |

## I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

### 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しております。

今年度は、平成28年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成28年度に実施した教育委員会所管の65事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な41事業を対象に実施しています。

### 3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした41事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

### 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

| 氏 名     | 役 職 名 等            |
|---------|--------------------|
| 真 木 吉 雄 | 元山形大学大学院教育実践研究科 教授 |
| 佐 藤 美奈子 | 元教員                |
| 鈴 木 多鶴子 | アンデルセン読み語りの会 代表    |

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催

| 開 催 日  | 区分 | 議案<br>番号 | 件 名                           |
|--------|----|----------|-------------------------------|
| 5月19日  | 定例 | 14       | 寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について     |
|        |    | 15       | 平成28年度教育費補正予算案に対する意見の申出について   |
| 6月21日  | 定例 | 16       | 寒河江市社会教育委員の委嘱について             |
|        |    | 17       | 寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について       |
|        |    | 18       | 寒河江市図書館協議会委員の任命について           |
| 7月20日  | 定例 | 19       | 寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について        |
|        |    | 20       | 平成29年度使用教科用図書の採択について（追加）      |
| 8月19日  | 定例 | 21       | 教育委員会の事務事業（平成27年度分）の点検・評価について |
|        |    | 22       | 寒河江市立図書館利用規程の一部改正について         |
|        |    | 23       | 平成28年度教育費補正予算案に対する意見の申出について   |
| 9月20日  | 定例 | 24       | 寒河江市天然記念物の指定解除について            |
|        |    | 25       | 寒河江市指定有形文化財の指定について            |
| 11月4日  | 臨時 | 26       | 寒河江市屋内多目的運動場に係る指定管理者の指定について   |
|        |    | 27       | 平成28年度教育費補正予算案に対する意見の申出について   |
| 11月28日 | 定例 | 28       | 平成28年度教育費補正予算案に対する意見の申出について   |

|       |                    |    |                                 |
|-------|--------------------|----|---------------------------------|
| 2月13日 | 定例                 | 1  | 寒河江市公民館に関する条例の一部改正に対する意見の申出について |
|       |                    | 2  | 平成28年度教育費補正予算案に対する意見の申出について     |
|       |                    | 3  | 平成29年度教育費予算案に対する意見の申出について       |
| 3月8日  | 臨時                 | 4  | 平成29年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について    |
| 3月23日 | 定例                 | 5  | 平成28年度教育行政の一般方針について             |
|       |                    | 6  | 公民館長の任命について                     |
|       |                    | 7  | 寒河江市立図書館長の任命について                |
|       |                    | 8  | 平成28年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について    |
|       |                    | 9  | 寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について       |
|       |                    | 10 | 寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について          |
|       |                    | 11 | 寒河江市中学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について     |
| 12    | 史跡慈恩寺旧境内保存活用計画について |    |                                 |

## 2. 教育委員会協議会の開催

開催回数 4月20日 ほかに12回

- 協議案件
- ・寒河江市いじめ防止対策の推進に関する条例に関する要綱・基本方針等について
  - ・市教委研究委嘱の工夫改善について
  - ・平成28年度市民講座「さくらんぼ大学」について
  - ・市民体育館の改修工事について
  - ・教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成27年度）の内容について
  - ・いじめ不登校の状況について
  - ・総合教育会議について
  - ・学校給食費の助成について

など 計 40件

### 3. 教育委員会会議以外の活動

#### (1) 学校訪問

| 実施日   | 実施校      | 実施日    | 実施校   |
|-------|----------|--------|-------|
| 5月17日 | 陵西中学校    | 10月7日  | 陵東中学校 |
| 6月22日 | 柴橋小学校    | 10月12日 | 三泉小学校 |
| 7月5日  | 醍醐小学校    | 11月29日 | 南部小学校 |
| 9月28日 | 寒河江中部小学校 |        |       |

#### (2) 総合教育会議

| 実施日            | 内 容   |
|----------------|---|
| 10月31日         | (1) 本市の学力の状況とその取組について<br>(2) 本市のいじめ問題の状況とその取組について<br>(3) 少子化に対応した教育行政について |
| 平成29年<br>2月22日 | (1) 今年度の本市の教育について<br>(2) これからの寒河江市の教育の推進について                              |

#### (3) その他調査・研修活動

| 実施日    | 内 容                         |
|--------|-----------------------------|
| 4月15日  | 教育委員会所管事項説明会                |
| 5月18日  | 小学校陸上競技大会                   |
| 5月27日  | 山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市） |
| 7月12日  | 西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会  |
| 〃      | 市小学校水泳競技大会                  |
| 7月15日  | 視察研修（東桜学館中学・高等学校）           |
| 8月5日   | 山形県市町村教育委員会大会（米沢市）          |
| 8月14日  | 市成人式                        |
| 9月23日  | 小中学校交歓音楽会                   |
| 〃      | 視察研修（新庄市立荻野学園）              |
| 10月21日 | 公開授業研究（寒河江小学校）              |
| 10月25日 | 視察研修（慈恩寺旧境内山業）              |

### III 施策の体系

## 第2次寒河江市教育振興計画

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり  
 ～ 共に学ぶ 共に育む ～

### 《基本方針》

### 《主要施策》

### 《具体的な施策》

**【基本方針1】**  
 豊かな心と健やかな体を育む

- 1 思いやりの心や規範意識の醸成
- 2 命や生き方を大切にする教育の推進
- 3 健やかな体を育む取組の推進
- 4 食育の推進
- 5 心を育む読書活動の推進
- 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進

- 多様な体験と規範意識の醸成
- 基本的な生活習慣の確立
- 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進
- 元気に遊ぶ子どもの育成
- 学校体育の充実
- 豊かな心と命を育む食育の推進
- 幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進
- 地産地消の推進
- 本が好きな子どもの育成
- 自主的な読書活動の支援
- 芸術文化に触れる機会の充実
- 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

**【基本方針2】**  
 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

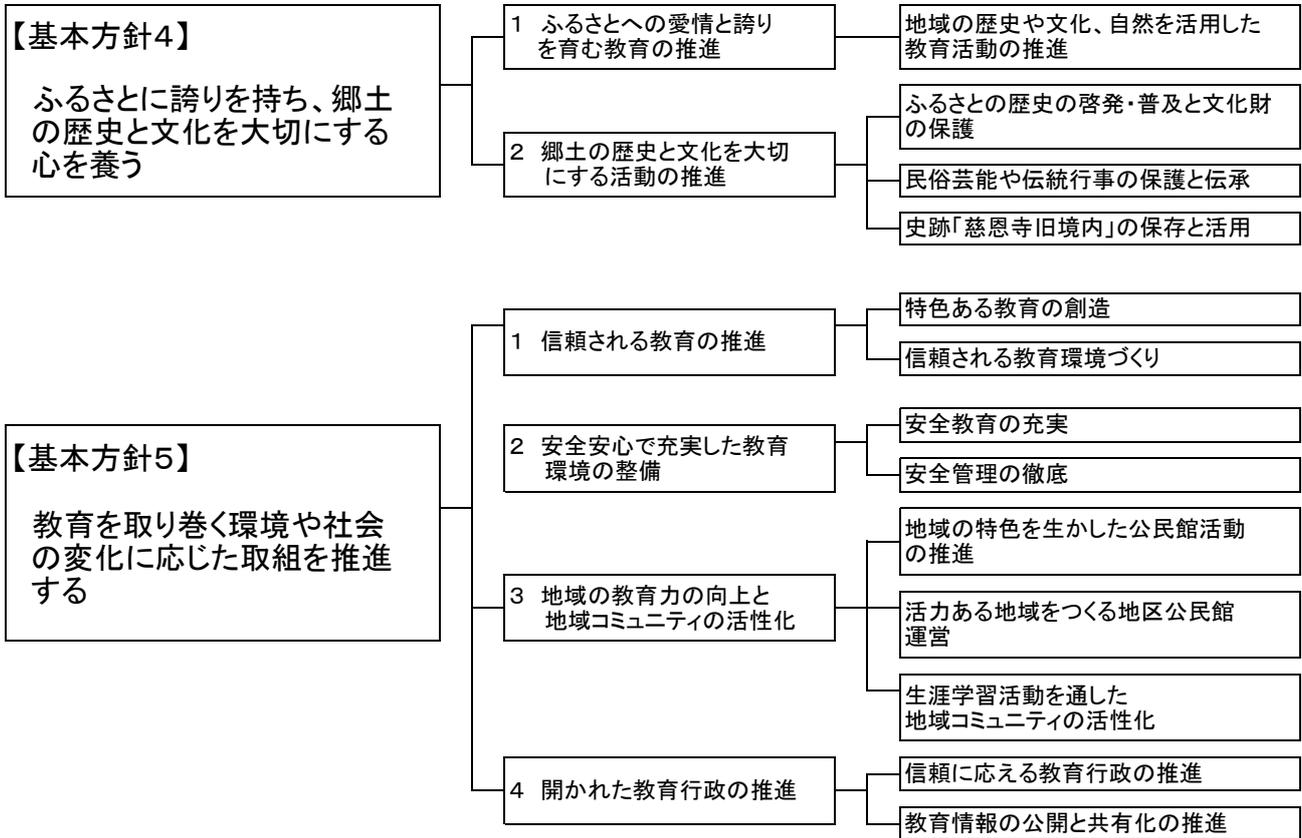
- 1 学びの充実と確かな学力の育成
- 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進
- 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進
- 4 発達に応じた学びを育む教育の推進
- 5 キャリア教育の推進

- 学ぶ力を高める教育の推進
- 主体的な活動ができる力の育成
- 多様な学習環境づくり
- 特別支援教育の充実
- 教育相談機能の充実
- ICTを活用した情報教育の推進
- 外国語(英語)学習や国際理解教育の推進
- 幼児教育の充実
- 幼保小中高の連携の推進
- 社会的・職業的自立に向けた教育の推進

**【基本方針3】**  
 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する

- 1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進
- 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進

- 生涯を通じた学習機会の充実
- 共に学び合う体制づくり
- 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進
- 競技力向上の推進
- スポーツ環境の整備と充実
- スポーツを通じた地域活性化の推進



## IV 外部評価委員の意見

### 1 総括

- 「事業の実施状況」については、昨年同様、要点が押さえられた簡潔な表記になっており、より分かりやすいものとなっています。特に今回、事業によって実績に関する前年度比を明記したことで、今まで以上に事業の推移を把握することが容易になりました。
- 「事業の評価」について、これまで見られた「～と思われる」や「～が必要である」など主体性に欠けた曖昧な表現がなくなり、いずれの事業でも客観的で明快な文章表記となっています。これは、目的に呼応した適切な自己評価の現れであり、実施主体者として評価意識がより高まったものと受け取れます。
- 「今後の方向性」に、本年度の予算額が記載されたことにより、経費面からも事業の推移が把握しやすくなりました。当評価作業は、該当年度のみでの事業評価で終わるのではなく、中長期的な観点から各事業の有効性を把握するものであり、特に予算作成において過去の実績が大きく影響してきます。
- 「青少年健全育成事業」や「理科教育センター運営事業」等、少額な予算にもかかわらず評価対象事業にあげていることは、事務事業点検・評価の目的に照らして極めて有意義なことと思います。一般行政では費用対効果の観点から問われることが多いのですが、教育行政には必ずしもふさわしいものとは限りません。経費を掛けずとも人の努力によって成果があげられるのが教育です。これからも、少額予算事業にも目を当てた評価がなされることを期待します。
- 内容がわかりやすくまとめてあります。

### 2. 施策ごとの意見

#### (1) 生涯学習の推進・充実

##### 【青少年健全育成事業】

- 市青少年育成センターの地道な取り組みによって、補導件数の減少につながったことは、高く評価します。反面、全国的に学校内での児童生徒の人間関係が要因と思われる重大ないじめ問題が継続して発生していることや、不登校生の減少に歯止めがかかっていないことなどがあり、本市においても、児童生徒の人間関係等に関わった生徒指導の充実を図るためにも、学校との連携を強化した健全育成事業を展開することが必要と思われます。
- 夕刻及び夜間街頭指導が年34回と数多く実施され、また学校保護者・地域住民と警察とが一体となり取り組んでいることは青少年の健全育成に寄与していると思われる

ます。その取組に、対象となる青少年を加える事業を展開できないでしょうか。

- 街頭指導や店舗等への巡回指導は、青少年を取り巻く社会の環境点検や地域社会での青少年の見守りにもなっており、これからの継続も期待します。

市内にも薬物乱用防止指導員が数名いるので、情報交換会なども設けて、更なる青少年の見守りにつなげてほしいと思います。

#### 【芸術文化振興事業】

- 多世代に向けた自主事業を行うに当たっては、指摘のとおり芸術性の質を確保しながら企画していくことが集客数にも反映されてきます。そのためには、多世代による企画委員会の立ち上げなども有効かと思えます。定着するまではあまり集客数に拘らないことも必要かもしれません。

- 自主事業について入場者数が500～700名と市民の多くが関心を持って鑑賞していることがよく分ります。今後とも会場内のアンケート等、市民の意見を参考にしして事業を展開してください。

- 市民にとって多くの方と感動を共にできる貴重な内容の事業だと思えます。

若い人同士の繋がりや郷土愛に繋げるためにも、若い人達を実行委員にし、若い人達のアイデアやエネルギーを生かしたものも取り入れて行ってはどうでしょうか。年齢を超えた縦の繋がりになればなお良いと思えます。

#### 【美術館運営事業】

- 集客数を増やす手立てとして、多様な媒体を活用するなど展示会の内容をリアルタイムで知らせることのできるPR方法も有効かと思われます。

- 今、美術館も静かに鑑賞するだけでなく体験型を取り入れる事業も大切と考えられます。子ども向けの体験企画は保護者や祖父母も美術館に足を向ける機会になると思えます。今後とも市民により多く足を運んでもらえる企画を取り入れていってください。

- 特別企画展の「アートツリーやまがた」は、実行委員の方からのチラシ配布やSNSでのPRが多く、認知度が高かったように思います。今後は、他の企画もSNSでの広報も取り入れてはどうでしょうか。

どなたでも展示できる期間なども設け、若い方々の作品展示の機会をつくったり、美術館に入りやすい工夫も必要と思えます。

#### 【公民館活動事業】

- 分館も含め地区住民の希望を反映した公民館活動が行われていることは、高く評価します。各公民館の独自性を尊重しながら、中央公民館も含めた各公民館の連携を高めていくことも重要です。今後更に充実されることを期待します。柴橋地区公民館へのコミセン機能併設事業は、これからの公民館経営のモデルケースとして大いに期待できる取り組みです。

- それぞれの公民館で特色ある事業を行っているようです。

意識をしないと地域のコミュニティーも廃れてしまう時代なので、地域の拠り所となる場にしてほしいと思います。

#### 【放課後子ども教室推進事業】

- 卒業生によるスタッフへのボランティア参加は、本事業の発展のうで大きな意味を持つものです。途切れることがないように、卒業生に呼びかけるなどの具体的な手立てを検討していくことが大切です。
- 子ども達の放課後や週末、長期休業中の受け皿として大事な役目を担っており、異年齢の子ども同士の交流が行われる貴重な場になっています。社会性を養う意味からも中学生ボランティアを活用し、高学年児童と一緒に企画運営する活動を取り入れていくのはどうでしょうか。
- 子供達の実体験を大事にした工夫を凝らした内容になっているようです。  
中学生のボランティアも、年齢を超えた縦の繋がり、地域の繋がりとなり、大変良いと思います。参加希望者が増加しているようですので、場の確保やスタッフの確保など、拡充を図ってほしいと思います。

#### 【公民館整備事業】

- 災害時を含め公民館は地域の拠点となる場所だと思います。安心安全に使用できるように引き続き整備事業を進めて欲しいです。
- 使用しやすい地域のコミュニティーの場になるような整備が図られていると思います。

#### 【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- 「大学院」の新設や「地域づくりマイスター養成講座」の実施など、アイデアを生かした企画が実施されていることを高く評価します。各講座のスタッフの取り組み意欲が、受講者の拡大に反映しているのではないのでしょうか。運営委員の負担が過剰にならないようにセーブしながら進めていくことを望みます。
- 様々な内容が盛り込まれており、楽しい生涯学習の場、地域コミュニティーの場になっています。キャンパスカフェ等の交流の場もアイデアと思います。

#### (2) 読書活動の推進・充実

##### 【読書の盛んな学校づくり事業】

- 読書活動推進員の方々の存在は学校の図書館経営に大いに役立っており、教職員の負担軽減はもちろん、教材研究や教科指導に頼りになる存在です。継続、更に中学校への拡充をお願いします。
- 各学校での読み語りボランティアだけではなく、読書活動推進員の配置により、ますます本好きな子どもの育成、幅広い読書活動につながっていると思います。先生方との連携での授業支援にもなっているのは素晴らしい。

今後は、中学校図書室までの配置拡大により、図書室での本を通した心のケアへの発展を期待します。

#### 【図書館管理運営事業】

- 人口減少に伴い利用者数の減少も危惧されていますが、従来の図書館運営という固定概念に拘らず、様々な角度から見直しを行い新たな工夫が施された運営がなされることを期待します。
- 学校文集の切り取り被害があり、開かれた図書館と相いれない面もあるかと思いますが安心安全な図書館の管理運営をより一層進めていただきたい。

#### 【図書資料等購入事業】

- 乳幼児期からのブックスタート事業に合わせての絵本の購入は、早い段階からの親と子が本に親しむ習慣になり豊かな心を育むと共に、本好きな子どもにも繋がっていくと思います。

幅広いニーズに合わせた購入になっていると思います。

#### 【読書普及事業】

- 定例事業、自主事業とも活発に展開されており、引き続き「読書の盛んなまちづくり」を推進していただきたい。
- 様々な事業での読書普及の取り組みが感じられます。

### (3) 生涯スポーツの推進・充実

#### 【生涯スポーツ振興事業】

- スポーツ人口割合の拡大にもつながる充実した取り組みがなされていることは、高く評価します。公民館活動や各種関係団体と連携を図りながら高齢者対象のスポーツ振興のより一層の充実がなされることを期待します。
- 指導者の問題があると思いますが、市民が多様なスポーツを経験できる機会を今後とも計画し実施してくれるように望みます。  
市内に住んでおられる障がい者の方にもできるスポーツ事業を期待します。
- 生涯にわたって健康でいられるようにこれからも取り組んでほしいと思います。

### (4) 特色ある学校づくりの推進・充実

#### 【さがえっこ育み推進事業】

- 「さがえっこの育み10カ条」の啓発が事業目的になっていますが、取り組み結果が青少年の健全育成にどのように反映されたのか検証することも必要です。同じ事業内ですので、10カ条の啓発活動と学校支援地域本部との活動にもっと関係性をもたせても良いのではないのでしょうか。
- 学校支援ボランティアが増え、地域の方々と学校の教育が進められることは学力向上、生徒指導、安全指導等、子ども達にとって大切なことと考えられます。学校に行

ってみたい、協力したいという方がまだまだ多数いると思われます。年1回だけでなくボランティアの方を募ってみてはいかがでしょうか。

- 学校側からの学校支援ボランティアの呼びかけが増えてきており、地域と学校とのハードルが低くなって関わりやすくなっているように感じます。

中学校での地域行事参加の配慮も感じ、学校と地域の連携が広がっているようです。

幼児～中学生のいない家庭へも事業が伝わるようにできたらよいと思います。

#### 【ふるさと学習支援事業】

- 教職員の経営意欲を高める点で、極めて意味のある事業のひとつです。事業名を変更するとのことですが、各学校が自由にかつ多面的に取り組むことができるような行政側の配慮を加えながら推進していくことを期待します。
- 使途が限定されるような事業内容でなく、学校の教育計画と重なり運用できる事業にしたいものです。今年度「夢・未来学校づくり支援事業」となり、学校の必要に応じた事業の展開が期待されます。

#### (5) 児童生徒の学ぶ力の育成

##### 【教育研究推進事業・学力向上推進事業】

- 教職員の主体的な研修活動の保証という点から、「授業改善・学力向上」に特化した取り組みに改変したことについては、一定の評価をします。こうした教育研究所の取り組みが、学力向上にどのような成果をあげたのか、また、教職員の指導力向上に反映されたのか、教育委員会としてのスタンスをもって効果検証を加えながら対応する必要があります。
- 各種検査は学校経営や学級経営に活用されております。それが具体的に授業改善、また学力向上へと結びつけられる組織及び運営が大事だと思います。校区毎の9年間を通した系統的な児童生徒の育成に期待します。ただ教職員の更なる多忙化につながらないような配慮が必要かと思えます。

##### 【理科教育センター運営事業】

- 小学校教員には、理科指導が不得意な教員が少なくないという実態を踏まえ、理科指導力の向上と合わせて、実験時の事故防止のための研修が充実することを期待します。
- 「理科離れ」が問題になっている昨今、まず教員が理科好きになるためにセンターの存在が大きいと思います。元々子ども達の中には理科が好きの子が多いです。今後とも理科を苦手としない教員の育成に力を発揮してください。

##### 【英語力育成事業】

- 前年度までの「外国語指導助手招致事業」を拡大し、児童生徒の視点に立った「英語力育成事業」に名称を変更したことは、時宜に合ったものであり高く評価します。

- A L T 3名の配置により各中学校区において柔軟に英語教育が行われやすくなったのではないのでしょうか。特に小学校の教員に英語教育への不安が多いと思われるので教育研究所で研修会等を実施するのはどうでしょうか。
- A L T の1名増により、ネイティブの生の英語に触れる機会が多くなり、興味を持って英語の学習ができるようになると思います。

#### 【教育相談事業】

- 不登校は初期対応が大事と考えます。月曜日や連休明け、長期休み明けに休みがちな児童生徒の把握や対応など予防を重視すべきではないのでしょうか。不登校になってからではなく予知予防としての教育相談の機能の充実を望みます。
- きめ細かな対応の取り組みになっていると感じます。

#### 【学習補助員配置事業】

- 児童生徒の状況に即して補助員が適正に配置され、さらに予算面で拡充の方向にあることは、授業の質の確保という面から見てもとても素晴らしいことです。一つの教室に複数の指導者がいることは、児童生徒にも安心感を与えることとなります。これからも指導力のある補助員を継続的に採用するよう教育事務所等と連携を図っていくことが必要です。
- 多種多様な児童生徒に対応するために補助員の存在は学校運営上欠かせないものです。学力向上や落ち着いた学級経営にも大いに寄与するものです。今後とも適正かつ十分に配置していただきたいと思います。
- 個別支援の必要な児童生徒にこれからも必要な事業と思います。

#### 【障害児通学支援事業】

- 保護者の送迎が難しい時に利用し助かっていました。引き続き継続をお願いします。

#### 【小中学校 I C T活用支援事業】

- 導入した I C T機器がより有効に活用させるためにも、支援員の学校訪問頻度を高めることで教員のスキル向上が図られるようになります。拡充されることを強く望みます。
- タブレットの導入も検討されており、教員だけで対応しきれない状況です。便利なものも一旦トラブルが起こるとかなりの時間が割かれ、かえって教育の障害になります。今後とも専門家による支援が必要と考えます。継続拡充してください。
- メンテナンスも含め、小中学校の I C T活用支援員は必要と思います。 I C Tの有効な活用に期待します。

#### 【就学援助事業（小学校）・同（中学校）】

- 準要保護児童生徒に対する「学校給食費」の全額援助への拡充対応については、高く評価します。
- 就学援助で助かる保護者がおります。今後とも就学援助を必要とする児童生徒の把

握を学校と連携して進め、安心して教育が受けられる支援を続けてください。

**【学校給食事業（小学校）・同（中学校）】**

- 給食費の助成は、他市町からの注目もあり、多面的な効果が期待されます。具体的な効果がどのようなものか、しっかりと検証されることを期待します。
- 寒河江産農産物の使用への努力等、委員会の給食事業への意気込みに大いに感心させられます。また食物アレルギーの対応は児童生徒の生命にかかわる問題です。どの学校でも徹底した対応をするための支援と指導が必要かと思われま

**（6）文化財の保存・活用の充実**

**【埋蔵文化財調査事業】**

- 市民の宝としての文化財ですので、今後とも調査保存、また、市民への広報、資料の展示や現場の立ち合いや説明会の開催を進めて欲しいものです。

**【郷土館保存事業】**

- 限られたスタッフで稲作農具の配置換えを実施したことは、高く評価をします。さらなる利用者の拡大を図るためにも、規模の大きい展示替えや見学者への説明方法の充実など、より実質的で具体的な取り組みをなされることが望まれます。
- 貴重な歴史的建物であり、長岡山の景観ともマッチしている施設であると思えます。一般の方にとって桜まつりやつつじまつりの期間の展示をまず魅力あるものにすることでリピーターの確保につながるのではないのでしょうか。

**【史跡慈恩寺旧境内総合調査事業】**

- 慈恩寺の現在の静かな佇まいを大事にした整備基本計画を策定していただきたいと思えます。その際に慈恩寺地区に住む人の意見を十分に反映し、建物だけでなくそこに生活する人々を配慮した内容が必要かと思えます。

**（7）教育行政に対する関心・意識の高揚**

**【教育委員会事務局管理事業】**

- 総合教育会議が10月と年度末の2回実施されていますが、それに加えて、年度初めの時期にも開催するようになれば、計画段階からの共有化が期待されるとともに、市教育行政のより一層の深化が図られるものと考えます。

**（8）教育環境の充実**

**【小学校管理事業・中学校管理事業】**

- 時代のニーズに合った適切な対応がなされていると思えます。  
学校と相談し子どもと教職員にとって適切な環境整備を今後とも進めてください。

**【学校保健事業（小学校）・同（中学校）】**

- 教職員のメンタルヘルスの保持のためにも、ストレスチェックの受診率を高める手

立てを工夫していく必要があると思われます。

- 教職員の働きすぎ、心の病等の対応を管理職と連絡し合い児童生徒のみならず“健康を害する教職員ゼロ”をめざしてほしいです。

**【教育振興事業（小学校）・同（中学校）】**

- 今後とも学校の要望に応じ、早めに対応し学習指導に活かせるようにしてください。

**【情報教育推進事業（小学校）・同（中学校）】**

- 校務用パソコンの不具合は学校運営がスムーズにはかどらないばかりか教職員の多忙化に拍車をかける結果になります。早期に対応くださるようお願いいたします。

## V 点検・評価対象事業一覧

| 施策の区分                 | 事業名               | 担当課   | 施策体系   | 頁  |
|-----------------------|-------------------|-------|--|----|
| ① 生涯学習の推進・充実          | 青少年健全育成事業         | 生涯学習課 | 基本方針 1<br>1  | 17 |
|                       | 芸術文化振興事業          | 生涯学習課 | 基本方針 1<br>6  | 18 |
|                       | 美術館運営事業           | 生涯学習課 | 基本方針 1<br>6  | 19 |
|                       | 公民館活動事業           | 生涯学習課 | 基本方針 5<br>3  | 20 |
|                       | 放課後子ども教室推進事業      | 生涯学習課 | 基本方針 5<br>3  | 21 |
|                       | 公民館整備事業           | 生涯学習課 | 基本方針 5<br>3  | 22 |
|                       | 寒河江さくらんぼ大学推進事業    | 生涯学習課 | 基本方針 3<br>1  | 23 |
| ② 読書活動の推進・充実          | 読書の盛んな学校づくり事業     | 学校教育課 | 基本方針 1<br>5  | 24 |
|                       | 図書館管理運営事業         | 生涯学習課 | 基本方針 1<br>5  | 25 |
|                       | 図書資料等購入事業         | 生涯学習課 | 基本方針 1<br>5  | 26 |
|                       | 読書普及事業            | 生涯学習課 | 基本方針 1<br>5  | 27 |
| ③ 生涯スポーツの推進・<br>充実    | 生涯スポーツ振興事業        | 生涯学習課 | 基本方針 3<br>2  | 28 |
|                       | 体育施設整備事業          | 生涯学習課 | 基本方針 3<br>2  | 29 |
| ④ 特色ある学校づくりの推<br>進・充実 | さがえっこ育み推進事業       | 学校教育課 | 基本方針 1<br>1-2-3<br>4-5                                 | 30 |
|                       | ふるさと学習支援事業        | 学校教育課 | 基本方針 1<br>1-2-3<br>4-5<br>基本方針 2<br>5<br>基本方針 4<br>1-2 | 31 |
| ⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成         | 教育研究推進事業・学力向上推進事業 | 学校教育課 | 基本方針 2<br>1  | 32 |
|                       | 理科教育センター運営事業      | 学校教育課 | 基本方針 2<br>2  | 33 |
|                       | 英語力育成事業           | 学校教育課 | 基本方針 2<br>3  | 34 |
|                       | 教育相談事業            | 学校教育課 | 基本方針 2<br>2  | 35 |
|                       | 学習補助員配置事業         | 学校教育課 | 基本方針 2<br>1-2  | 36 |
|                       | 障害児通学支援事業         | 学校教育課 | 基本方針 2<br>2  | 37 |
|                       | 小中学校 ICT活用支援事業    | 学校教育課 | 基本方針 2<br>3  | 38 |

|                    |                |       |             |    |
|--------------------|----------------|-------|-------------|----|
| ⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成      | 就学援助事業（小学校）    | 学校教育課 | 基本方針 5<br>1 | 39 |
|                    | 就学援助事業（中学校）    | 学校教育課 | 基本方針 5<br>1 | 40 |
|                    | 学校給食事業（小学校）    | 学校教育課 | 基本方針 1<br>4 | 41 |
|                    | 学校給食事業（中学校）    | 学校教育課 | 基本方針 1<br>4 | 42 |
| ⑥ 文化財の保存・活用の充実     | 市史編纂事業         | 生涯学習課 | 基本方針 4<br>2 | 43 |
|                    | 埋蔵文化財調査事業      | 生涯学習課 | 基本方針 4<br>2 | 44 |
|                    | 郷土館保存事業        | 生涯学習課 | 基本方針 4<br>2 | 45 |
|                    | 史跡慈恩寺旧境内総合調査事業 | 生涯学習課 | 基本方針 4<br>2 | 46 |
| ⑦ 教育行政に対する関心・意識の高揚 | 教育委員会事務局管理事業   | 学校教育課 | 基本方針 5<br>4 | 47 |
| ⑧ 教育環境の充実          | 小学校管理事業        | 学校教育課 | 基本方針 5<br>2 | 48 |
|                    | 中学校管理事業        | 学校教育課 | 基本方針 5<br>2 | 49 |
|                    | 学校保健事業（小学校）    | 学校教育課 | 基本方針 1<br>3 | 50 |
|                    | 学校保健事業（中学校）    | 学校教育課 | 基本方針 1<br>3 | 51 |
|                    | 教育振興事業（小学校）    | 学校教育課 | 基本方針 5<br>1 | 52 |
|                    | 教育振興事業（中学校）    | 学校教育課 | 基本方針 5<br>1 | 53 |
|                    | 情報教育推進事業（小学校）  | 学校教育課 | 基本方針 2<br>3 | 54 |
|                    | 情報教育推進事業（中学校）  | 学校教育課 | 基本方針 2<br>3 | 55 |
|                    | スクールバス運行事業     | 学校教育課 | 基本方針 2<br>1 | 56 |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |  |       |                                   |
|--------------------|--|-------|-----------------------------------|
| 事業名                | 青少年健全育成事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>生涯学習係                    |
| 施策体系<br>教育振興計<br>画 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>1 思いやりの心や規範意識の醸成<br>多様な体験と規範意識の醸成<br>基本的な生活習慣の確立 | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>7 青少年育成センター費 |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。   |
| 事業内容 | (1)青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。<br>(2)青少年育成推進員を委嘱して、青少年の健全育成と非行防止を図りながら、地域における運動を推進する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |     |      |      |    |     |     |     |
|-------|-----|------|------|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 500 | 補正額等 | △ 40 | 合計 | 460 | 決算額 | 365 |
|-------|-----|------|------|----|-----|-----|-----|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1)市青少年育成センターにおいて、民生児童委員及び主任児童委員による年間23回の夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による年間11回の夜間街頭指導を実施し、市内の商業ビル、JR駅、ゲームセンター、レンタルビデオ店、カラオケボックスなどを巡回した。<br/>(2)青少年育成推進員が、本屋やコンビニにおける有害図書調査、成人式会場での薬物禁止のチラシ配布等を実施している。<br/>(3)子ども・若者健全育成研修会を開催し、市教育長 草苺和男氏から「学校教育の現状と健全育成」と題して講演をしていただいた。</p> |
|--|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1)民生児童委員等による夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による夜間街頭指導を継続していることにより、寒河江警察署管内においては、青少年補導件数の減少に繋がっている。(H26 64件、H27 63件、H28 37件)<br/>(2)子ども・若者健全育成研修会の講演会には、小学生から大人まで参加され、市内の小・中学校における学校教育の現状について、理解を深めることができた。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止  |
| 今後の対応 | <p>(1)市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図りながら市内の夕刻及び夜間街頭指導を継続する。<br/>(2)子ども・若者健全育成研修会を、「いじめ・非行をなくそう」をテーマに実施していく。<br/>(3)平成29・30年度の2年間にわたり、陵南中学校区において、学校・保護者・地域住民の方々と警察が一体となって少年の非行防止及び健全育成に取り組むネットワーク事業が実施されるので、こちらの事業にも積極的に関わっていく。</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |   |       |                      |
|------------------|---|-------|----------------------|
| 事業名              | 芸術文化振興事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>文化センター事業管理係 |
| 施策体系<br>〔教育振興計画〕 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む  | 予算科目  | 10 教育費               |
|                  | 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進<br>芸術文化に触れる機会の充実<br>芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造 |       | 4 社会教育費<br>3 芸術文化振興費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取り組みの推進。            |
| 事業内容 | 多くの市民が質の高い芸術にふれるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |  |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 10,844 | 補正額等 |  | 合計 | 10,844 | 決算額 | 10,789 |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
| (1) 市民文化会館自主事業の実施                                  |                                 |
| ①第5回 悠久の里慈恩寺コンサート 東儀秀樹「雅の世界」                       | 8月27日(土) 入場者600名                |
| ②狂言師 野村萬斎と女優 若村麻由美による「平家物語の世界」Vol. 2               | 9月19日(月) 入場者650名                |
| ③幼児演劇教室 劇団ポプラ「ミュージカル オズの魔法使い」                      | 10月11日(火) 入場者678名(幼稚園、保育園4・5歳児) |
| ④インテリ漫才コンビ ロザンの「お笑い課外授業」トーク&ライブ                    | 11月19日(土) 入場者550名               |
| (2) 実行委員会等市民文化団体への支援                               |                                 |
| ①県美展寒河江移動展(同 実行委員会主催)                              | 9月28日(水)～10月3日(月) 入場者510名       |
| ②第48回市総合文化祭(市芸術文化協議会主催)                            | 10月27日(木)～11月3日(木) 参加団体47団体     |
| ③第19回寒河江市音楽祭『春を呼ぶコンサート』                            | 3月19日(日) 入場者936名                |
| (3) 山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援)  |                                 |
| (4) 舞台づくり支援事業(演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体に支援) |                                 |
| ①演奏力等向上支援事業  | 社会教育団体5回                        |
| ②発表会活動支援事業   | 高校2回 社会教育団体3回                   |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1) 自主事業においては、日本の伝統文化から若者向けのトーク&ライブなどの事業を実施し、幅広い年齢層から高い集客を収めることができた。                         |
| (2) 5回目となる「慈恩寺コンサート」では、これまでのコンサートで人気の高かった東儀秀樹氏を再招聘し、満席の観客のもと、史跡となった慈恩寺の魅力を県内外に大いにPRすることができた。 |
| (3) 総合文化祭においては、新規に少年少女合唱団と陵東中学校の合唱を取り入れたことにより観客層が広がり、集客増に繋がった。                               |

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止  |
| 今後の対応 | (1) 自主事業については、今後も文化的レベルが高く、多くの市民の共感を得られるものを、市民の声を取り上げながら総合的に勘案して実施していく。<br>(2) 新たに多世代向けの公演を企画し、多くの人々が芸術文化に触れる機会を増やす。<br>(3) 「市総合文化祭」や「市音楽祭」等の各団体で実施する事業や、高校・社会教育団体の活動の支援についても引き続き力を入れていき、多くの市民が芸術文化に関わることのできる環境を整備していく。 |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |   |       |                                |
|--------|---|-------|--------------------------------|
| 事業名    | 美術館運営事業                                   | 所管課・係 | 生涯学習課<br>文化センター事業管理係           |
| 施策体系   | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む                  | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>3 芸術文化振興費 |
| 教育振興計画 | 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進<br>芸術文化に触れる機会の充実 |       |                                |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。               |
| 事業内容 | (1) 常設展示のほか、「市民ギャラリー」で特別企画展や企画展を実施するとともに、ワークショップなどの体験企画を実施する。<br>(2) 親しまれる美術館をめざして、施設整備を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 5,816 | 補正額等 |  | 合計 | 5,816 | 決算額 | 5,298 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1) 特別企画展として、社会福祉施設関係者やボランティアスタッフと実行委員会を組織し、「アートツリーやまがたvol.5」を実施した。</p> <p>① 内容は、施設利用者や若手作家の作品展示や、作者のミニトーク、オリジナルの小物づくりなど。</p> <p>② 平成29年2月5日(日)～2月27日(月)に開催。来場者1,356名。</p> <p>(2) 企画展として、次の展示等を実施し、身近な芸術作品等にふれる場を提供した。</p> <p>① 安孫子荻馨展／平成28年7月1日(金)～7月19日(火)。来場者430名。</p> <p>② 埋蔵文化財フェア／平成28年7月23日(土)～8月11日(木)。来場者358名。</p> <p>③ 寒河江さくらんぼ大学成果展／平成28年9月3日(土)～9月22日(木)。来場者541名。</p> <p>④ 渡邊渡人形展／平成28年9月14日(水)～9月27日(火)。来場者590名。</p> <p>⑤ 名誉館長・郷間正観企画展／平成28年10月1日(土)～10月10日(月)。来場者428名。</p> <p>⑥ ワークショップ「テープであそぼう」／平成28年10月24日(月)～10月25日(火)。来場者101名。</p> <p>⑦ 市総合文化祭(作品展示)／10月27日(木)～11月3日(木)。来場者250名。</p> <p>⑧ 慈恩寺絵画コンクール／平成28年11月13日(日)～11月25日(金)。来場者189名。</p> <p>⑨ 寒河江子ども芸術展／平成28年12月23日(金)～平成29年1月12日(木)。来場者541名。</p> <p>(3) 展示台やスポットライトなど、展示施設の整備を行った。</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| <p>(1) 子ども芸術展やテープ遊びなどのワークショップなど、子どもを対象とした企画が好評だった。</p> <p>(2) 若手作家など、もっと発掘に努め、発表の場を提供するなどして支援しながら、寒河江市美術館の活性化を図っていく必要がある。</p> |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止        |
| 今後の対応 | <p>(1) 出展者が実行委員会を組織して実施する特別企画展について、実施しやすい環境づくりに努める。</p> <p>(2) 子ども向けの体験企画など、企画展の充実に引き続き取り組む。</p> <p>(3) 館内設備等を整備し、広報活動にも一層力を入れ、芸術活動の拠点として親しまれる美術館づくりを進めていく。</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |  |       |                             |
|--------|--|-------|-----------------------------|
| 事業名    | 公民館活動事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>中央公民館              |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する          | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>4 公民館費 |
| 教育振興計画 | 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化<br>地域の特色を生かした公民館活動の推進 |       |                             |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。                                |
| 事業内容 | (1)各公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会、発表会などの地域づくり活動を支援していく。<br>(2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成指導を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 4,403 | 補正額等 |  | 合計 | 4,403 | 決算額 | 4,256 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1)生涯学習活動や地域活動の拠点として、豊かな人づくりのほか、地域に親しまれる公民館をめざし、各種事業を展開した。</p> <p>①分館活動／市内61分館の分館長・分館主事を中心に、各地域で特色ある分館活動を展開した。</p> <p>②生涯学習活動推進員／20名の推進員が、公民館事業の運営等に協力して取り組んだ。</p> <p>③公民館活動に向けた用具等整備／運動用具や印刷用消耗品など、事業実施のための用具等を各公民館に整えた。</p> <p>④学びのふるさと推進事業／生涯学習の地域力の向上と地域づくりのため、事業共催を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域塾事業／分館と地区公民館が連携し実施する、複数回の学習会など(元町分館)</li> <li>・分館連携事業／分館と地区公民館が連携し、地域活性化を図る活動。(中央分館、柴橋分館、清助新田分館、陣ヶ峯分館)</li> <li>・社会教育団体との共催事業／全市的または地区を対象とした学習事業や生涯スポーツ振興事業。公民館大会(2月12日(日))</li> <li>・子ども会育成連合会役員研修会(1月28日(土))、地区民レクリエーション大会や文化祭など。</li> </ul> <p>⑤寒河江市少年少女合唱団の育成／小学生から高校生までの16名で構成し、市内外の演奏会出演や施設訪問等を行った。</p> <p>⑥各公民館運営会議等の開催／各公民館の事業内容や事業計画について意見を聞き、事業の企画や実施に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館運営審議会／8名。年1回。</li> <li>・東部地区公民館運営会議／16名。年1回。</li> <li>・南部地区公民館運営会議／9名。年1回。</li> <li>・柴橋地区公民館運営会議／13名。年1回。</li> <li>・西部地区公民館運営会議／21名。年1回。</li> </ul> |
|--|

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| <p>(1)各公民館で、市内61分館で組織する公民館連絡協議会と連携して研修会等を実施し、分館活動の活性化を図った。</p> <p>(2)地区公民館では、各種団体と協力しながら、レクリエーション大会や文化祭などを実施し、地域づくりに努めた。</p> <p>(3)中央公民館や地区公民館事業は運営審議会や運営会議で意見を聴き、各公民館や地域の特色を生かした事業を実施した。</p> <p>(4)寒河江市少年少女合唱団は、定期演奏会を開催し、市総合文化祭にも初出演し、福祉施設訪問等で美しい歌声を披露した。</p> |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止   |
| 今後の対応 | <p>(1)地域コミュニティの活性化を図るため、各地区公民館は地域活動の拠点となる分館活動を継続して支援していく。</p> <p>(2)地域づくりに向けた研修会や交流会などを通して、分館と地区公民館の連携を一層強めながら各種事業を実施していくとともに、常に環境を整え、たくさんの人が気軽に訪れる地域の「いいい場」をめざしていく。</p> <p>(3)地区公民館へのコミュニティセンター併設に向けて、新たな組織づくりなど、その準備に取り組んでいく。</p> <p>(4)中央公民館は、寒河江市少年少女合唱団の新規団員の募集を図りながら、演奏やボランティア活動等の指導にあたりとともに、市民館連絡協議会や市子ども育成会連合会など全市的団体の活動を支援していく。</p> <p style="text-align: right;">(H29予算 4,089千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |   |       |                                 |
|--------------------|---|-------|---------------------------------|
| 事業名                | 放課後子ども教室推進事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>生涯学習係                  |
| 施策体系<br>教育振興<br>計画 | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する<br>3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化<br>地域の特色を生かした公民館活動の推進<br>生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化 | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>10 生涯学習推進費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。 |
| 事業内容 | 寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全10小学校児童を対象に教室を開催。  |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,932 | 補正額等 |  | 合計 | 1,932 | 決算額 | 1,403 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1)市内全10小学校児童を対象に、5教室を設け、各教室とも夏休み等を中心に10日間開催した。<br/>【内容】夏休みおさらい学習などの学習活動やカヌー及びグラウンド・ゴルフのスポーツ体験や秘密基地作り・アクセサリ作りなどの工作活動、昔語りや手話体験など、その他様々な活動を実施した。<br/>【参加人数等】<br/>・コーディネーター 5名 教育活動推進員 41名 参加者総数 323名<br/>(参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小 122名 寒河江中部小 90名 南部小 38名 柴橋小 51名<br/>高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 22名</p> |
|--|

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| <p>(1)各教室において、事業内容に工夫をこらし、学年間の交流、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。<br/>(2)各教室とも、指導員の後継者不足が心配されている。<br/>(3)放課後児童クラブとの連携やこの教室の経験者(卒業生)が中学生になってから、ボランティアスタッフとして参加し、子ども達の面倒をみてくれるという好ましい流れは継続しており、今後も継続していく。</p> |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止     |
| 今後の対応 | (1)子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。<br>(2)指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。<br>(3)この事業を通して、子ども達の地域活動への参加促進につながっていく流れをつくっていく。 |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                     |   |       |                |
|---------------------|---|-------|----------------|
| 事業名                 | 公民館整備事業   | 所管課・係 | 生涯学習課<br>生涯学習係 |
| 施策体系<br>教育振興<br>計 画 | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する<br>3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化<br>地域の特色を生かした公民館活動の推進 | 予算科目  | 10 教育費         |
|                     |   | 項     | 4 社会教育費        |
|                     |   | 目     | 1 社会教育総務費      |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 地域のコミュニティの核である分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。  |
| 事業内容 | (1)分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。<br>(2)平成28年度から新たに修繕及び設備の整備(エアコン設置・照明のLED化)が、補助の対象になる。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |    |    |        |     |        |
|-------|--------|------|----|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 10,270 | 補正額等 | 24 | 合計 | 10,294 | 決算額 | 10,294 |
|-------|--------|------|----|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|   |                           |                   |                 |
|---|---------------------------|-------------------|-----------------|
| (1) 鹿島分館改修工事(耐震補強・増築・水洗化)                 | 事業費 5,804,165円 面積等 71.22㎡ | 完成年月日 平成28年 7月28日 | 補助金額 3,869,000円 |
| (2) 鹿島分館内装・玄関屋根改修及び設備整備工事(エアコン設置・照明のLED化) | 事業費 991,360円 面積等 71.22㎡   | 完成年月日 平成28年 7月28日 | 補助金額 660,000円   |
| (3) 六供町分館エアコン設置工事                         | 事業費 620,000円 面積等 3台       | 完成年月日 平成28年 6月16日 | 補助金額 206,000円   |
| (4) 平塩分館エアコン設置工事                          | 事業費 652,320円 面積等 2台       | 完成年月日 平成28年 7月 5日 | 補助金額 217,000円   |
| (5) 清助新田分館設備整備(エアコン設置・照明のLED化)及び手摺取付工事    | 事業費 296,256円 面積等 一式       | 完成年月日 平成28年 8月 4日 | 補助金額 98,000円    |
| (6) ひがし分館耐震補強工事                           | 事業費 5,378,400円 面積等 335㎡   | 完成年月日 平成28年10月28日 | 補助金額 3,301,000円 |
| (7) 谷沢分館屋根塗装工事                            | 事業費 720,000円 面積等 352㎡     | 完成年月日 平成28年 8月26日 | 補助金額 240,000円   |
| (8) 若葉町分館エアコン設置工事                         | 事業費 750,000円 面積等 3台       | 完成年月日 平成28年 7月 6日 | 補助金額 250,000円   |
| (9) 高屋分館手摺取付工事                            | 事業費 263,520円 面積等 一式       | 完成年月日 平成28年 9月 2日 | 補助金額 87,000円    |
| (10) 金谷分館改修工事                             | 事業費 4,100,685円 面積等 一式     | 完成年月日 平成28年12月12日 | 補助金額 1,366,000円 |

## 5. 事業の評価

|                                |
|--------------------------------|
| 9つの分館において整備が図られ、地域活動の活性化に繋がった。 |
|--------------------------------|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | (1)各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。<br>(2)分館の耐震化について、地域における拠点施設として安心安全を確保するため、引き続き推進していく。<br>(H29予算 15,148千円)   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |  |               |                |
|--------------------|--|---------------|----------------|
| 事業名                | 寒河江さくらんぼ大学推進事業   | 所管課・係         | 生涯学習課<br>中央公民館 |
| 施策体系<br>教育振興<br>計画 | 【基本方針3】<br>生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する                     | 予算<br>科目<br>目 | 10 教育費         |
|                    | 1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進<br>生涯を通じた学習機会の充実<br>共に学び合う体制づくり |               | 4 社会教育費        |
|                    |  |               | 4 公民館費         |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 生涯学習と交流の場として、中央・地区公民館をつないだ、誰もが自己実現のため生き生きと学び、学びを通じた触れ合いで人とひとがつながり、学びの成果が地域で輝きまちを育てるための「市民大学」を開設する。                        |
| 事業内容 | (1) 中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした、市民講座を実施する。<br>(2) 講師は著名人や地域で活躍する方などを、幅広く選定する。<br>(3) 講座の実施にあたっては、受講生による運営委員が主になり、自主的運営を進めていく。 |

## 3. 予算額・決算額

|       |       |      |    |       |     |       |
|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,894 | 補正額等 | 合計 | 1,894 | 決算額 | 1,685 |
|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|

(単位:千円 千円未満切上げ)

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>中央公民館と4つの地区公民館の5つのキャンパスで、7つの学部を構成し、成人講座を実施した。受講生延べ250名。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開講講座/YBCテレビの情報番組に出演中の管理栄養士・樋口順子氏を迎え、7月9日(土)に実施した。受講生175名が参加。</li> <li>・キャンパス及び学部構成</li> </ul> <p>(1) 中央キャンパス(中央公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生き生き元気学部／主に60歳以上の方を対象に、整理術講座、笑いのヨガで健康体操、クラゲ学習会、歌声茶論を実施。7月19日(火)～10月12日(水)に4講座(5回)。受講生延べ223名。</li> <li>② 歴史学部／寒河江のさくらんぼの歴史、石碑・墓石の見方、読み方、慈恩寺の歴史学習を実施。8月4日(木)～11月4日(金)で4回。受講生延べ228名。</li> <li>③ 進・芸術ふれあい学部／現代演劇の基礎、オリジナル楽器づくり、(若手)作家の生き方、山形国際ドキュメンタリー映画祭と創造都市。8月6日(土)～10月17日(月)で4回。受講生延べ58名。(講座終了後、寒河江市美術館で作品展示会を実施した。)</li> </ul> <p>(2) 東部キャンパス(東部地区公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① チャレンジ匠学部／自然満喫講座、Uターンカウンセラー講座、ソーセージ教室、コミュニケーション講座を実施。9月10日(土)～11月17日(木)で4回。受講生延べ122名。</li> </ul> <p>(3) 南部キャンパス(南部地区公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 身近な地形学部／山形・寒河江の活断層、活断層現地視察、山形の温泉あれこれ、寒河江の大地の生き立ち。9月13日(火)～10月25日(火)で4回。受講生延べ157名。</li> </ul> <p>(4) 柴橋キャンパス(柴橋地区公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 緑・体感学部／ガーデニング教室、山形の緑を感じる写真展、自然散策、ハンギングバスケット作り。7月18日(月)～9月30日(金)に4回。受講生延べ100名。</li> </ul> <p>(5) 西部キャンパス(西部地区公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域発見学部／いにしえ浪漫講座(永松)、味力発見講座(郷土料理)、フロンティアアグリ講座(ニンニク)、地域史講座を実施。7月15日(金)～9月13日(火)に4回。受講生延べ111名。</li> </ul> |
|--|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1) 「学びで築くひと・まち・未来」を全体方針として、各公民館をキャンパスに、5公民館7学部で成人講座を実施した。</p> <p>(2) 3年目となり、キャンパスカフェなどで受講生相互の交流を深めたほか、講座の実施にあたっては、運営委員が活躍した。</p> <p>(3) 講座終了後には、次年度の学部構成や講座内容について運営委員で話し合い、次年度の講座づくりを検討した。</p> <p>(4) 運営委員会では、高度に専門的に学ぶ大学院の新設に向けて話し合いを重ね、その概要を固めた。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止   |
| 今後の対応 | <p>(1) 平成29年度は、慈恩寺について、高度に専門的に学ぶ「大学院」を新設する。</p> <p>(2) 開講講座をグレードアップして、新たな受講者を募り、仲間づくりの輪を広げる。</p> <p>(3) 地域づくりの実践的なリーダーを育む「地域づくりマイスター養成講座」を実施する。</p> <p>(4) 運営委員会を中心に「自分たちがつくる講座」をめざして、自主的運営を一層推進する。(H29予算 3,388千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                          |       |                    |
|--------|--------------------------|-------|--------------------|
| 事業名    | 読書の盛んな学校づくり事業            | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係 |
| 施策体系   | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む | 予算科目  | 10 教育費             |
| 教育振興計画 | 5 心を育む読書活動の推進            |       | 1 教育総務費            |
|        | 本が好きな子どもの育成              |       | 3 教育指導援助費          |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。  |
| 事業内容 | (1) 読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。<br>(2) 「図書館管理システム」を有効に活用することにより、児童生徒の読書環境の充実を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 5,663 | 補正額等 |  | 合計 | 5,663 | 決算額 | 5,432 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|                       |  |
|-----------------------|--|
| (1) 読書活動推進員の配置        |  |
| ① 配置人数                | 5名   |
| ② 配置校                 | 寒河江小・西根小・(陵東中) 寒河江中部小・三泉小 南部小・柴橋小・(陵南中)<br>醍醐小・高松小・(陵西中) 白岩小・幸生小 |
| ③ 業務内容                | 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援<br>その他児童生徒の読書活動推進のための業務          |
| ④ 勤務体制                | 年間200日程度、各小学校に曜日ごとに2~3日の勤務、中学校は、必要に応じて対応                         |
| (2) 読書環境の整備           |  |
| ① 図書館管理システムのサポート業務の委託 |  |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1) 本市で配置している読書活動推進員は、図書環境の整備や蔵書整理、児童生徒に対する読書の啓発活動だけでなく、ブックトークや読み聞かせなど、国語の授業支援に積極的に関わり、児童生徒の学びの充実に寄与しているところに大きな特徴がある。読書活動推進員による授業支援は、子どもたちの学力向上にも大きく貢献しており、本市の教育にとってなくてはならないものである。 |
| (2) 平成28年度の全国学力・学習状況調査では、読書が好きと答えた児童の割合が、県や全国よりも多くなっている。   |
| (3) 他の町で新規に任用された方に対する研修を本市の配置校で受け入れ、読書活動推進員が講師を務めた。  |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | (1) 読書の盛んな学校づくりの推進や、読書が好きな児童生徒の育成のために、配置している5名の読書活動推進員で市内すべての小中学校を受け持つ体制を今後も継続していく。<br>(2) 各学校における図書環境の整備と教員と連携した学習支援を引き続き推進し、さらなる読書活動の充実や授業改善につなげていく。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|       |   |         |
|-------|---|---------|
| 事業名   | 図書館管理運営事業   | 生涯学習課   |
|       |   | 図書館:業務係 |
| 施策体系  | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>5 心を育む読書活動の推進<br>本が好きな子どもの育成<br>自主的な読書活動の支援 | 予算科目    |
| 教育振興計 |   | 10 教育費  |
|       |   | 4 社会教育費 |
|       |   | 5 図書館費  |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。  |
| 事業内容 | (1) 図書館機能の充実と施設の適切な維持管理を行うため、空調機器保守点検、清掃や機械警備を業務委託する。<br>(2) 経年劣化に伴う施設設備の整備、修繕を計画的に行う。<br>(3) 更なる読書環境の充実のため市民のニーズに的確に対応する管理運営を行う。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |       |    |        |     |        |
|-------|--------|------|-------|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 24,847 | 補正額等 | 1,516 | 合計 | 26,363 | 決算額 | 25,099 |
|-------|--------|------|-------|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| (1) 保守点検、管理運営業務等  |
| ① 設備管理業務、機械警備業務、清掃業務、冷暖房設備保守、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守 外 業務委託 |
| ② 図書館情報システム賃借、駐車場賃借 外   |
| ③ 東口用図書返却ポストの設置 (11月1日使用開始)                                   |
| ④ 貸出の対象者を県内に住所を有する者に範囲拡大 (9月1日図書館利用規程改正)                      |
| (2) 工事、修繕等  |
| からくり時計塔・制御盤補修、緑地広場改修、高圧気中開閉器更新工事外 冷暖房設備、消防設備、エレベーター修繕 外       |
| (3) 利用状況  |
| ① 入館者数 111,961人(1,241人減) ② 開館日数 330日(増減なし)                    |
| ③ 貸出者数38,535人(669人減) ④ 貸出冊数152,016冊(4,367冊減)                  |

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| (1) 図書館の適切な管理運営により快適で利用しやすい環境を提供している。   |
| (2) 施設等の維持管理による安全性と、図書館機能の充実による利用者のニーズに対応したサービスの向上に努めており、市内外からの入館者の多様な利用につながっている。       |
| (3) 新聞・雑誌コーナーの模様替えや試行的に会議室を学習室としての提供、駐車場の案内表示・おもいやり看板等の整備、東口用図書返却ポストの設置により利用者の利便性を確保した。 |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | (1) 図書館施設の適切な管理運営に努め、利用者サービスの向上を図り、安全で快適な環境の維持管理を行う。<br>(2) 貸出対象範囲拡大の効果による入館者・貸出者・貸出冊数等の増加を図る。<br>(3) 生涯学習の拠点として誰もがいつでも快適に利用できる図書館づくりを進める。               |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |   |       |                             |
|------|---|-------|-----------------------------|
| 事業名  | 図書資料等購入事業   | 所管課・係 | 生涯学習課<br>図書館・業務係            |
| 施策体系 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>5 心を育む読書活動の推進<br>本が好きな子どもの育成<br>自主的な読書活動の支援 | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>5 図書館費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 公立図書館に備えておくべき蔵書の整備を基本とし、図書資料等の充実を図る。   |
| 事業内容 | (1) 利用者の幅広いニーズに対応するため蔵書の整備を進める。<br>(2) 一般図書、児童図書、視聴覚資料(DVD等)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、計画的に購入する。 |

## 3. 予算額・決算額

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 9,114 | 補正額等 |  | 合計 | 9,114 | 決算額 | 8,945 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

(単位:千円 千円未満切上げ)

## 4. 事業の実施状況

|                      |                        |       |         |
|----------------------|------------------------|-------|---------|
| (1)図書館蔵書状況(平成28年3月末) |                        |       |         |
| ① 一般書                | 101,983冊(前年度比 1,418冊増) | 「購入冊数 | 3,228冊」 |
| ② 児童書                | 30,468冊(前年度比 214冊減)    | 「購入冊数 | 972冊」   |
| ③ 視聴覚資料(音響・映像)       | 4,075点(前年度比 29点増)      | 「購入点数 | 26点」    |
| ④ 雑誌等                | 3,683冊(前年度比 増減なし)      | 「購入冊数 | 903冊」   |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1) 郷土の歴史や文化、地域情報誌など幅広い資料の収集と整備に努め、「寒河江の人物・行事」リーフレットを毎年作成し、市内の小中学校等に配布している。            |
| (2) 乳幼児期からの読書機会を提供するため、ブックスタート絵本の継続購入やおはなし会用の大型絵本・紙芝居等を購入した。                           |
| (3) 図書館に備えておくべき図書資料等を基本とし、ニーズの高い新刊図書資料等の選定やリクエストに応えた図書資料等の購入により、幅広い利用者層に対応した蔵書の充実を図った。 |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | (1) 読書活動などの多様化による利用者ニーズを的確に把握し、図書資料等を継続的に購入していく。<br>(2) 学校等との連携を進めながら、読書基盤である蔵書の整備を図る。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |   |       |                             |
|------|---|-------|-----------------------------|
| 事業名  | 読書普及事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>図書館：業務係            |
| 施策体系 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>5 心を育む読書活動の推進<br>本が好きな子どもの育成<br>自主的な読書活動の支援 | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>5 図書館費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 読書への興味と関心を促すため、読書機会の提供と啓発に努め、魅力ある図書館づくりを進める。 |
| 事業内容 | 読書推進団体との連携を深め、図書館自主事業や図書推薦コーナー等を継続的に実施する。    |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 2,183 | 補正額等 |  | 合計 | 2,183 | 決算額 | 2,111 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1) 定例事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ボランティアグループによる「おはなし会」の開催(4団体・約120回)</li> <li>② 子どもに読ませたい本のコーナー等の設置(通年)</li> <li>③ 「最新新刊書コーナー」「ブックテマコーナー」「ミニブックテマコーナー」等の設置(通年)</li> <li>④ 「ティーンズコーナー」の新設(通年)</li> <li>⑤ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(192名)</li> <li>⑥ 市子育て推進課、健康福祉課及びブックスタートサポーターとの連携で「ブックスタート事業」実施(12回)</li> <li>⑦ 3ヵ月児健診時と子育て支援施設への出張による「絵本の部屋」開催(24回)</li> <li>⑧ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(13団体他)</li> </ul> <p>(2) 図書館自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」の開催 7月3日 ハートフルセンター 210名参加)</li> <li>② 「さがえ図書館まつり2016 夏まつり」の開催 (8月7日 図書館 280名参加)</li> <li>③ 「シリーズ山形の文学を探る」の開催 (8月～10月・全4回(5テーマ) 図書館、現地視察 延べ200名参加)</li> <li>④ 「直木賞作家 高橋義夫氏 読書講演会」の開催 (10月8日 文化センター中央公民館ホール 90名参加)</li> <li>⑤ 「MあんどB人形劇公演」の開催 (10月28日 図書館 市内幼稚園・保育所ほか対象 400名参加)</li> <li>⑥ 「さがえ図書館まつり2016 冬まつり」の開催 (12月11日 図書館 380名参加)</li> <li>⑦ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示</li> </ul> |
|--|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1) 定例事業の定着化や図書館自主事業の継続的な実施により、図書館や読書への関心を高め読書の普及拡大につながっている。</p> <p>(2) 乳幼児期からの読書推進を目的とした「ブックスタート事業」、ボランティアグループによる「おはなし会」など好評を得ている。</p> <p>(3) 旬をテーマにした「ブックテマコーナー」の継続、新たに「ティーンズコーナー」を設置し中高生がより利用しやすいようにした。</p> <p>(4) 未就学児から高齢者まで幅広いニーズに応えた多彩な事業や学習、読書活動支援を行った。</p> <p>(5) 図書館をきっかけとした読書活動をはじめとする文化的活動の深まりや広がりにも繋がった。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | <p>(1) 魅力ある読書普及事業を継続的に実施し、読書機会の提供と啓発に努める。</p> <p>(2) 「読書の盛んなまちづくり」を推進する。</p>   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |   |       |                         |
|--------|---|-------|-------------------------|
| 事業名    | 生涯スポーツ振興事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>スポーツ振興室スポーツ振興係 |
| 施策体系   | 【基本方針3】<br>生涯にわたって、いきいきと学び続ける取組を推進する。               | 予算科目  | 10 教育費                  |
| 教育振興計画 | 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進                              |       | 5 保健体育費                 |
|        | 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進<br>競技力向上の推進<br>スポーツを通じた地域活性化の推進 |       | 1 保健体育総務費               |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。  |
| 事業内容 | (1)年間を通じた体育施設の利用とスポーツ振興を図るため、指定管理者や各種スポーツ団体と連携し各種教室等の開催<br>(2)スポーツに親しむ基盤整備とスポーツ人口の拡大を図るため、各種スポーツ大会の開催支援。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |       |    |       |     |       |
|-------|-------|------|-------|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,665 | 補正額等 | △ 150 | 合計 | 1,515 | 決算額 | 1,507 |
|-------|-------|------|-------|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>より多くの市民がスポーツに親しむことができるように、市スポーツ推進委員の協力を得て寒河江市総合型スポーツクラブ(アスポートさがえ)及び寒河江市体育協会に事業の一部を委託し、様々なスポーツ教室や講習会等の実施を通して、多くの市民にスポーツの機会を提供した。また、各種スポーツ大会を開催し、競技力向上に努めた。</p> <p>(1) 少年スポーツ活動育成事業<br/>【スポーツ教室】 ① ジュニアスポーツ教室(モンテディオサッカー教室1回 30名) ② カヌー教室(2回23名)<br/>【スポーツ大会】 ①野球(2回8チーム) ②バレーボール(10チーム) ③ミニバスケットボール(11チーム)<br/>④バスケットボール(11チーム) ⑤剣道(110チーム)</p> <p>(2) ファミリースポーツ推進事業<br/>① 市民スキー教室(1回 80名) ② ニュースポーツ出前教室(8回 447名) ③ 市民カヌー教室(1回 14名)<br/>④ ちびっこスポーツ教室(16回 30名) ⑤ 親子スポーツ教室(12回 13組26名) ⑥ スポーツ面白講座(1回 16名)<br/>⑦ ジュニアスポーツ教室(16回 14名)</p> <p>(3) 生涯スポーツ推進事業<br/>① 市スポーツレクリエーション祭(1回 501名) ② 婦人ナイターバレーボール大会(6チーム)<br/>③ 成人スポーツ講座(7講座 57回)</p> |
|--|

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| <p>(1)生涯スポーツ推進事業については「市スポーツ推進委員」が、ファミリースポーツ推進事業については「アスポートさがえ」が、少年スポーツ活動育成事業については「市体育協会」が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を展開した。<br/>(2)より多くの市民に楽しくスポーツに親しむ機会を提供することができたことで、スポーツ人口の拡大につながっている。<br/>(3)各種スポーツ大会の開催により、競技力の向上を図った。</p> |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止  |
| 今後の対応 | <p>(1)本事業については、これまでスポーツに親しむ事業を中心に実施してきた。<br/>(2)平成29年度については、2020東京オリンピック・パラリンピックを見据え、スポーツのもつ多様な機能を通じて魅力ある地域を創造していくため、競技力向上の推進を図る事業を中心とした新事業(地域スポーツ活性化推進事業)とに分離し取り組んでいく。</p> <p>(H29予算 生涯スポーツ振興事業 8,002千円 地域スポーツ活性化推進事業 8,483千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |   |       |                                |
|------|---|-------|--------------------------------|
| 事業名  | 体育施設整備事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>スポーツ振興室スポーツ振興係        |
| 施策体系 | 【基本方針3】<br>生涯にわたって、いきいきと学び続ける取組を推進する。<br>2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進<br>スポーツ環境の整備と充実 | 予算科目  | 10 教育費<br>5 保健体育費<br>1 保健体育総務費 |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 安全、安心快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。   |
| 事業内容 | (1)老朽化した体育施設(市民体育館アリーナ等)の改修工事を行う。<br>(2)全国レベル等の競技会開催基準を満たすための体育施設整備を行う。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |         |      |     |    |         |     |         |
|-------|---------|------|-----|----|---------|-----|---------|
| 当初予算額 | 133,332 | 補正額等 | 885 | 合計 | 134,217 | 決算額 | 134,210 |
|-------|---------|------|-----|----|---------|-----|---------|

## 4. 事業の実施状況

(1) 市民体育館、屋内多目的運動場について、次の業務を実施した。

|                              |            |
|------------------------------|------------|
| ① 寒河江市市民体育館便所洋式改修工事          | 1,728 千円   |
| ② 寒河江市市民体育館電話設備整備工事          | 63 千円      |
| ③ 寒河江市市民体育館廊下等床改修工事          | 2,160 千円   |
| ④ 寒河江市市民体育館アリーナ改修工事          | 122,969 千円 |
| ⑤ 寒河江市市民体育館アリーナ改修実施設計監理業務委託  | 6,696 千円   |
| ⑥ 寒河江市屋内多目的運動場イルミネーション設置業務委託 | 594 千円     |

## 5. 事業の評価

(1)平成29年度南東北インターハイ「バレーボール男子競技」の寒河江市開催に向けた準備が図られた。  
(2)全国大会規模の競技会基準を満たすための照明施設の整備が図られた。  
(3)トイレの洋式化により、快適に利用できる体育施設の整備が図られた。

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 今後も安全で快適に利用できる体育施設の整備を図るため、施設の整備・改修工事を計画的に進めていく。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|               |   |       |                                |
|---------------|---|-------|--------------------------------|
| 事業名           | さがえっこ育み推進事業   | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係             |
| 施策体系<br>教育振興計 | <b>【基本方針1】</b><br>豊かな心と健やかな体を育む<br>1 思いやりの心や規範意識の醸成<br>多様な体験と規範意識の醸成<br>基本的な生活習慣の醸成<br>2 命や生き方を大切にする教育の推進<br>学校・が低・地域が連携したいのちと生き方を考える教育の推進<br>3 健やかな体を育む取組の推進<br>元気に遊ぶ子どもの育成<br>4 食育の推進<br>豊かな心と命を育む食育の推進<br>5 心を育む読書活動の推進<br>自主的な読書活動の支援 | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>3 教育指導援助費 |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 子どもたちを育むための指針「さがえっこの育み10か条」を核とし、学校・家庭・地域が連携しながら広くその取り組みを推進し、未来を担う子ども達を健やかに育む。 |
| 事業内容 | さがえっこ育み推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援する仕組みづくりを行う。         |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |      |      |  |    |      |     |       |
|-------|------|------|--|----|------|-----|-------|
| 当初予算額 | 4181 | 補正額等 |  | 合計 | 4181 | 決算額 | 3,914 |
|-------|------|------|--|----|------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| (1) 推進本部の設置<br>① 教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年3回開催し、事業の推進方策等を検討<br>② 平成23年度に制定した指針「さがえっこの育み10か条」について、項目の追加や文言等の見直しを図り、年度始めにリーフレットを6,500部作成し、幼稚園・保育所、小中学校の保護者・教職員等に配布<br>③ 「さがえっこの育み10か条」について、PTA総会時に話をしたり、各公民館に掲示したりするなどの啓発活動を実施<br>(2) 学校支援地域本部事業<br>① 各小中学校に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進<br>※学校支援ボランティアの総数 2,471人(平成27年度:2,224人) |
|---|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1) 新たな「さがえっこの育み10か条」の普及<br>小中学校では、学校の実態に合わせ、それぞれ、さがえっこを育むための実践を展開できた。<br>青少年育成市民会議の総会では、「さがえっこの育み10か条」を全員で唱和するなど、地域にも広がりを見せている。<br>(2) 学校支援地域本部事業についてもすべての小中学校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開した。<br>学校支援ボランティアとしてかかわる地域住民や保護者が増え、活動の広がりが見られ、昨年度に比べて人数が増加した。 |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止   |
| 今後の対応 | (1) 平成29年度は、ポスターを作り、学校、公民館、図書館等に掲示して、更なる市民への認知度を高めていく。<br>(2) 平成28年度に実施を見送った「さがえっこ育み標語募集」について、平成29年度、新規に「さがえっこ育みフォーラム」を開催し、健全なさがえっこの育成を市民全体で考える場を設ける。<br>(3) 学校支援地域本部については、コーディネーターが配置されていない小学校にも、段階的に配置をし、今後も小中学校に関わる地域住民を増やすようにしていく。 |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |  |       |                                |
|--------------------|--|-------|--------------------------------|
| 事業名                | ふるさと学習支援事業   | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係             |
| 施策体系<br>教育振興計<br>画 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>1 思いやりの心や規範意識の醸成<br>多様な体験と規範意識の醸成<br>基本的な生活習慣の醸成<br>2 命や生き方を大切にする教育の推進<br>学校・が低・地域が連携したいのちと生き方を考える教育の推進<br>3 健やかな体を育む取組の推進<br>元気に遊ぶ子どもの育成<br>4 食育の推進<br>豊かな心と命を育む食育の推進<br>5 心を育む読書活動の推進<br>自主的な読書活動の支援 | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>3 教育指導援助費 |
|                    | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>5 キャリア教育の充実<br>社会的・職業的自立に向けた教育の推進   |       |                                |
|                    | 【基本方針4】<br>ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進<br>地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進<br>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>民俗芸能や伝統行事の保護と伝承  |       |                                |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援するため  |
| 事業内容 | 子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 2,950 | 補正額等 |  | 合計 | 2,950 | 決算額 | 2,950 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1) 各学校では、第2次教育振興計画の基本目標に迫るため本事業を活用し、家庭や地域と連携した取組を展開している。<br/>(例) 豊かな心と健やかな体づくりの学習・・・食育推進活動や子どもの生活リズムの確立を図る活動、読書の盛んな学校づくり活動など<br/>ふるさとに関わる学習・・・慈恩寺の歴史にまつわる学習、太鼓や田植え踊り、大黒舞などの伝統芸能・文化を生かした学習など</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1) 各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における特色ある教育活動や体験的な活動を計画し展開している。<br/>(2) 予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当を行っている。<br/>→各学校ごと教育効果が上がるような活動を考え、主体的に工夫を凝らした活動を展開できた。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止                      |
| 今後の対応 | 「ふるさと学習支援事業」という名称で1年間事業を展開してきたが、本事業の2本柱である「ふるさとを愛する心を育む」「豊かな心と健やかな体を育む」のうち、ふるさと学習にのみ重点を置いているような印象を受ける。本事業の主旨として、未来を担う子ども達を育成する学校づくりをバックアップするという意味で、「夢・未来 学校づくり支援事業」に名称を変更する。 |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                     |   |       |  |
|---------------------|---|-------|--|
| 事業名                 | 教育研究推進事業・学力向上推進事業   | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係                         |
| 施策体系<br>教育振興<br>計 画 | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>1 学びの充実と確かな学力の育成<br>学ぶ力を高める教育の推進<br>主体的な活動ができる力の育成 | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>3 教育指導援助費<br>4 教育研究所費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。  |
| 事業内容 | (1) 教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。<br>(2) 学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 5,888 | 補正額等 |  | 合計 | 5,888 | 決算額 | 5,532 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査</p> <p>① 小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上)</p> <p>② 小2、4、6、中1における知能検査の実施</p> <p>③ 中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回)</p> <p>(2) 教育研究所</p> <p>① 研修部 7部会(授業改善・生徒指導・食育・教育環境・情報教育・特別支援教育・読書活動)(研修会各2回)</p> <p>② 研修会</p> <p>○ 全員集会全体会(5月16日) 村山教育事務所 指導主事 岡崎秀也氏<br/>「探究型学習を充実させるために」</p> <p>○ 全体研修会(8月29日) 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラムライオンズクエスト上級講師 佐渡涼子氏<br/>「ライオンズクエスト ライフスキル教育プログラム」</p> <p>③ 学力向上対策委員会</p> <p>○ 学力対策委員会の開催(5月・1月)</p> <p>○ 教研式NRT学力検査結果の分析と、報告書「つきたい力」の作成・配布</p> <p>○ 結果を受けて、各学校での個に応じた指導や授業改善の取り組み</p> <p>④ 新組織立ち上げのための検討委員会の開催(6月・8月・9月・11月)</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| <p>(1) 研修部会</p> <p>2回行われたうち1回の研修で代表者が授業を公開し、もう1回の研修では、外部の講師を招聘しての講話や体験活動等、研究員のニーズや現在の教育課題に応じた主体的な研修が、どの研修部でも積極的に進められ、大変有意義なものとなった。</p> <p>(2) 全体研修会</p> <p>「子ども達が人生で直面する困難にどう対処すればよいか」についてワークショップを行った。具体的に児童生徒が考える課題を児童生徒の立場で考えることで、指導者としてどのように接していくかを改めて考える良い機会となった。</p> <p>(3) 学力対策委員会</p> <p>委員の先生方から、NRT学力検査をもとに、小中連携を意識して「つきたい力」を教科ごとに明らかにして提案するとともに、各校での学力向上の取り組みについて実践発表をしていただき、各校での学習指導や指導改善に役立てることができた。</p> <p>(4) 検討委員会</p> <p>新年度からスムーズに研究所が運営できるように、校長会・教頭会・教務主任会の代表によって組織された新組織について協議し、具体的な動きについて決定することができた。</p> |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | (1) 「授業改善・学力向上」に特化した研修部に改変し、中学校区ごと9年間を通じた系統的な児童生徒の育成を図っていく。<br>(2) 今まで1年に1校の公開授業研究会を学区ごと1校ずつ、つまり、1年で3校の授業を公開するように改変する。                                   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                     |       |                    |
|--------|-------------------------------------|-------|--------------------|
| 事業名    | 理科教育センター運営事業                        | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係 |
| 施策体系   | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む | 予算科目  | 10 教育費             |
| 教育振興計画 | 1 学びの充実と確かな学力の育成                    |       | 1 教育総務費            |
|        | 学ぶ力を高める教育の推進                        |       | 3 理科教育センター費        |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。                           |
| 事業内容 | 寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |     |      |  |    |     |     |     |
|-------|-----|------|--|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 149 | 補正額等 |  | 合計 | 149 | 決算額 | 144 |
|-------|-----|------|--|----|-----|-----|-----|

## 4. 事業の実施状況

|                           |   |
|---------------------------|---|
| (1) 運営委員・所員合同会の開催 (4月・2月) |   |
| (2) 研修活動の実施               | (参加状況・研修内容:<br>所員研修 14名〔県理科センター協議会研修会伝達〕、<br>一般研修 11名〔「科学クラブなどで役立つおもしろ科学体験講座」〕、<br>小3年研修 11名〔「太陽を調べよう」「じしゃくにつけよう」〕、<br>小4年研修 14名〔「水のすがたと温度」「物のあたたまり方」〕、<br>小5・6年合同研修 16名〔「電気がうみ出す力」「ふりこのきまり」「水溶液の性質とはたらき」〕、<br>中学校研修 3名〔授業実践や教材、実験観察方法、評価問題などについて情報交換〕) |
| (3) 調査研究                  | (指導案・小中理科大会要項等の情報収集等)   |
| (4) 備品器具の貸し出し             | (理科センター備品・教材貸出)   |
| (5) 所報の発行                 | (3月発行 第52号)   |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1) 小学校では、教材の取り扱い方や製作、授業に密着した実験・観察等に関する研修が、中学校では、授業のあり方や教材、実験観察方法、評価問題などについて情報交換が行われた。参加者からは、今後の授業や教材研究に役立ったという感想が多数寄せられた。また、自分で教材を作ってみてわかることが多く、提案する側にとっても有意義な研修になったという感想も見られた。 |
| (2) 研修で指導者が学んだことが各学校に還元され、理科の授業改善に生かされている。   |
| (3) 自然の事物・現象に進んでかかわり、実感を伴った理解を図りながら、子どもたちに科学的な見方や考え方を養っていくうえで、理科教育センターが担う役割や今後の期待はますます大きなものとなっている。   |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止                           |
| 今後の対応 | 身の回りの身近なできごとに疑問をもち、追究し続ける理科好きな児童生徒を多く育てていくため、今後も、各学校における理科の授業改善につながる各種研修等を、教員の研修ニーズや標準学力検査、全国学力・学習状況調査の分析結果等を踏まえて企画・実施していく。<br><div style="text-align: right;">(H29予算 159千円)</div> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                     |       |                    |
|--------|-------------------------------------|-------|--------------------|
| 事業名    | 英語力育成事業                             | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係 |
| 施策体系   | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む | 予算科目  | 10 教育費             |
| 教育振興計画 | 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進              |       | 1 教育総務費            |
|        | 外国語(英語)学習や国際理解教育の推進                 |       | 3 教育指導援助費          |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 3名のALTを各中学校区に配置し、市内小学校の外国語活動や中学校の外国語の学習を充実させるとともに、小中連携による系統的な学習を推進し、児童生徒に英語力を身に付けさせる。     |
| 事業内容 | (1) 児童生徒の生きた英語学習や国際理解教育の充実を図る。<br>(2) これからのグローバル化社会を生き抜くために必要な、国際共通語としての英語力を児童生徒に身に付けさせる。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 4,006 | 補正額等 |  | 合計 | 4,006 | 決算額 | 3,785 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |  |
|---|--|
| (1) ALT(7月までは2名、8月からは3名)を市内13の小中学校に学期ごと計画を立てて派遣し、小学校の外国語活動・中学校の外国語学習への支援を行った。 |  |
| ① ALT派遣回数(のべ回数)   | ・小学校 1学期134回、2学期170回、3学期 90回、計394回<br>・中学校 1学期 26回、2学期 25回、3学期 42回、計 93回 |
| ② 派遣方法  | ・小学校 曜日ごとに学校を固定して派遣<br>・中学校 学習内容に応じて希望した日に派遣                             |

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| (1) 2学期からALTを1名増員して3名体制になったことを受け、市内の3中学校区をそれぞれ受け持つようにした。小学校では、高学年の外国語活動や低中学年の英語に慣れ親しむ学習活動での支援を、中学校では、外国語の授業支援や英語弁論大会に向けた指導を計画的に行い、ネイティブによる生の英語に触れる機会を多く設けることができた。 |
| (2) 3名の新しいALTが着任する際に、前任者との引き継ぎや研修の時間を確保したことで、2学期からの事業をスムーズに展開することができた。  |
| (3) ALT担当者会を年2回開催し、各学校での活用状況や要望等について担当者と情報交換を行い、以後の事業に反映させることができた。  |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止   |
| 今後の対応 | (1) 授業等でALTを積極的に活用し、児童生徒がネイティブによる生の英語に触れる機会をより多く確保するためにも、ALT3名を今後も各中学校区に配置し、小中が連携した英語学習を推進していく。<br>(2) 今後は、小学校における外国語教科の実施や外国語活動の早期化を見据え、小中が連携した本市の英語教育をさらに推進していくために、英語教育推進会議を開催していく。<br>(3) 希望者を募って1日英語だけで過ごす「イングリッシュ・デイ」事業を実施し、英語にどっぷりと浸る中で様々な活動を行い、英語に対する興味関心を高めていく。<br><p style="text-align: right;">(H29予算 2,597千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                     |       |                    |
|--------|-------------------------------------|-------|--------------------|
| 事業名    | 教育相談事業                              | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係 |
| 施策体系   | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む | 予算科目  | 10 教育費             |
| 教育振興計画 | 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進<br>教育相談機能の充実  | 項     | 1 教育総務費            |
|        |                                     | 目     | 3 教育指導援助費          |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。  |
| 事業内容 | (1)教育相談室に教育相談員3名を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。<br>(2)不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 4,263 | 補正額等 |  | 合計 | 4,263 | 決算額 | 3,791 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| (1) 教育相談室の概要  |
| ① 相談員の配置：教育相談員3名(うち、訪問相談員2名)  |
| ② 相談の件数： ○学 校 来室相談 69件、電話相談 375件、学校訪問 69件<br>○保護者 来室相談 279件、電話相談 485件、家庭訪問 120件 |
| (2) 寒陵スクールの概要(教育相談員が運営)   |
| ① 在籍児童生徒：計13名(小学生2名、中学生11名…うち市外中学生1名)   |
| ② 開設日数：211日(勤労青少年ホーム：194日 フローラ寒河江：8日 市立図書館：9日)                                  |
| ③ その他：長期休業中の学習(2日)、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施                      |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1)平成28年度の不登校による年間30日以上欠席者<br>小学生2名(前年度2名)、中学生43名(前年度44名)                          |
| (2)寒陵スクール在籍児童生徒進路状況<br>小6(1名)・中3(3名)は、志望する県立中学や県立高校、私立高校に進学し、小6(1名)は、寒河江の中学校へ進学した。 |
| (3)寒陵スクールから学校への復帰者<br>2名(中学生)  |
| (4)寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図り、寒陵スクールや学校への出席につながるなどの成果がみられた。        |

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止  |
| 今後の対応 | (1)保護者や児童生徒の悩みに寄り添いながら学校への登校を促すことや、学校には行けなくとも、寒陵スクールで外の世界と接点を持たせ、自立を促す取り組みをさらに充実していく。<br>(2)各学校の不登校予防担当者や教育相談担当者、特別支援教育コーディネーター、福祉部局や外部の専門機関との連携を図るため、平成28年度から配置しているスクールソーシャルワーク・コーディネーターからも連絡調整にあたってもらう。 |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |   |       |                                |
|------|---|-------|--------------------------------|
| 事業名  | 学習補助員配置事業   | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係             |
| 施策体系 | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>1 学びの充実と確かな学力の育成<br>学ぶ力を高める教育の推進<br>2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進<br>特別支援教育の充実 | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>3 教育指導援助費 |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 個別の支援が必要な児童生徒に対して学習・生活支援を行い、教育活動の充実を図る。   |
| 事業内容 | (1) 通常学級における個別の指導が必要な児童生徒に対する学習・生活支援<br>(2) 特別支援学級における特別な配慮が必要な児童生徒等に対する学習・生活支援 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |  |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 17,769 | 補正額等 |  | 合計 | 17,769 | 決算額 | 17,267 |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|          |   |
|----------|---|
| (1) 配置校  | 寒河江小(3名)、寒河江中部小(3名)、南部小(1名)、西根小(1名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)、陵西中(1名)<br><u>計 12校 (19名)</u> |
| (2) 業務内容 | 学級担任を補助し、個別支援が必要な児童生徒への学習・生活上の支援を行う。<br>① 通常学級における、個別の支援が必要な児童生徒への支援<br>② 特別支援学級における、障がいの程度や多人数等、状況に応じた支援                 |
| (3) 勤務体制 | 年間200日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務  |

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| (1) 学校から出された配置申請や、国や県の加配、学級編制の状況を考慮しながら、それぞれの学校が抱える課題に適切に対応できるように補助員を配置した。27年度に比べて人数は2名減ってはいるが、その分勤務時間を増やして、児童生徒への支援にあたるようにした。(平成27年度:21名・18,435時間、平成28年度:19名・18,976時間) |
| (2) 通常学級で特別な支援を必要とする児童生徒への学習・生活支援、取り出しによる学習支援、特別支援学級の児童生徒に対する学習・生活支援等、各学校の実情に応じて、配置された補助員を計画的・効果的に活用することができた。   |
| (3) 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の育成等、学力向上につながる補助員の活用も行われている。  |

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止                                |
| 今後の対応 | (1) 今後も、学校の状況や県による講師加配、学級編制の状況等を踏まえ、各学校が抱える課題の解決につながるよう、補助員を適正に配置していく。<br>(2) 午後の授業における支援にも対応できるようにしたり、有効な教員免許を有する補助員を活用したりして、学習支援を充実させ、学力の向上につながる効果的な活用を進めていく。<br><br>(H29予算 19,453千円) |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|               |  |       |                                |
|---------------|--|-------|--------------------------------|
| 事業名           | 障害児通学支援事業  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                   |
| 施策体系<br>教育振興計 | <b>【基本方針2】</b><br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進<br>特別支援教育の充実 | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>3 教育指導援助費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な特別支援学級児童生徒の学習参加の便利向上と保護者の負担軽減を図る。 |
| 事業内容 | 登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。                         |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |     |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-----|
| 当初予算額 | 2,008 | 補正額等 |  | 合計 | 2,008 | 決算額 | 621 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-----|

## 4. 事業の実施状況

|          |  |
|----------|--|
| (1) 実施   | 登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援  |
| (2) 利用状況 | 小学校 : 2校、4名、延べ 394回<br>中学校 : 2校、3名、延べ 231回<br>合計 : 4校、7名、延べ 625回 |

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| 家庭、学校及びタクシー会社が連携し、各児童生徒に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっているが、登下校往復での支援でないがゆえに支援を辞退している家庭がある。 |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き、登下校往復での支援が出来る予算を要求していく。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                     |  |       |              |
|---------------------|--|-------|--------------|
| 事業名                 | 小中学校ICT活用支援事業  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系<br>教育振興<br>計 画 | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進<br>ICTを活用した情報教育の推進 | 予算科目  | 10 教育費       |
|                     |  | 項     | 1 教育総務費      |
|                     |  | 目     | 3 教育指導援助費    |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | ICT活用支援員が小中学校を巡回してパソコン等ICTを活用した教育活動について支援を行い、小中学校のICT活用に係る教育を推進する。        |
| 事業内容 | 小中学校におけるICTを活用した授業及び校務処理を円滑に進めるため、ICT活用支援員が小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行う。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |     |      |  |    |     |     |     |
|-------|-----|------|--|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 540 | 補正額等 |  | 合計 | 540 | 決算額 | 540 |
|-------|-----|------|--|----|-----|-----|-----|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| ICT活用支援員1名が、延べ32日小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行った。 |
|--|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| 平成25年度に緊急雇用創出事業でICT支援員が配置されてから、機器のメンテナンスやソフト活用の技術的支援のために各小中学校を定期的に巡回してICT活用に伴う準備の負担軽減や技術指導を行ってきたことで、教職員のICTに関する知識や活用技術が向上してきている。 |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | ICT機器に関する教職員の知識や活用技術は向上してきているが、教職員がICT活用に関する業務すべてに対応することは困難であり学校からは支援員の継続を望む声が多いため、平成30年度以降の拡充を検討していく。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                       |       |                             |
|--------|---------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 事業名    | 就学援助事業(小学校)                           | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する | 予算科目  | 10 教育費<br>2 小学校費<br>3 教育振興費 |
| 教育振興計画 | 1 信頼される教育の推進<br>信頼される教育環境づくり          |       |                             |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 要保護・準要保護児童及び特別支援学級児童の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。 |
| 事業内容 | 学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。               |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |  |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 12,909 | 補正額等 |  | 合計 | 12,909 | 決算額 | 11,275 |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|                        |             |    |             |
|------------------------|-------------|----|-------------|
| (1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給 | 対象児童 : 172名 | 金額 | 10,038,949円 |
| (2) 特別支援教育就学奨励費の支給     | 対象児童 : 37名  | 金額 | 1,221,747円  |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>経済的理由によって就学が困難と認められる児童が増加しており、就学に必要な経費を支援することで、経済的負担の軽減に役立っているが、支給費目の拡充や就学予定者の支援(新入学生用品費等の支援)を望む声がある。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止   |
| 今後の対応 | <p>(1) 準要保護児童に係る就学援助費のうち「学校給食費」については国の基準同様、年間給付額の9割から全額に拡充する。</p> <p>(2) 要保護児童に係る「新入学生用品費等」について、国では援助対象を就学予定者にまで拡大したことから、寒河江市においても、就学予定者である準要保護児童に係る「新入学生用品費等」の援助を検討していく。<br/>(H29予算額9,884千円。ただしH29から小学校給食費が半額助成されるため予算額は減額となる。)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |   |       |              |
|------------------|---|-------|--------------|
| 事業名              | 就学援助事業(中学校)   | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系<br>(教育振興計画) | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する<br>1 信頼される教育の推進<br>信頼される教育環境づくり | 予算科目  | 10 教育費       |
|                  |   | 項     | 3 中学校費       |
|                  |   | 目     | 3 教育振興費      |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 要保護・準要保護生徒及び特別支援学級生徒の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。 |
| 事業内容 | 学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。               |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |  |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 12,322 | 補正額等 |  | 合計 | 12,322 | 決算額 | 11,500 |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|                        |      |        |    |             |
|------------------------|------|--------|----|-------------|
| (1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給 | 対象生徒 | : 120名 | 金額 | 10,984,995円 |
| (2) 特別支援教育就学奨励費の支給     | 対象生徒 | : 13名  | 金額 | 514,387円    |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>経済的理由によって就学が困難と認められる生徒が増加しており、就学に必要な経費を支援することで、経済的負担の軽減に役立っているが、支給費目の拡充や入学予定者の支援(新入学生用品費等の支援)を望む声がある。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止                                       |
| 今後の対応 | <p>(1) 準要保護児童に係る就学援助費のうち「学校給食費」については国の基準同様、年間給付額の9割から全額に拡充する。</p> <p>(2) 要保護児童に係る「新入学生用品費等」について、国では援助対象を就学予定者にまで拡大したことから、寒河江市においても、入学予定者である準要保護児童に係る「新入学生用品費等」の援助を検討していく。(H29予算額14,228千円。)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |  |       |                             |
|--------------------|--|-------|-----------------------------|
| 事業名                | 学校給食事業(小学校)  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                |
| 施策体系<br>教育振興計<br>画 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>4 食育の推進<br>豊かな心と命を育む食育の推進<br>地産地消の推進 | 予算科目  | 10 教育費<br>2 小学校費<br>2 学校保健費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。 |
| 事業内容 | 全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。                              |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |  |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 40,689 | 補正額等 |  | 合計 | 40,689 | 決算額 | 39,099 |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</li> <li>(2)「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成し、食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</li> <li>(3)米や野菜の栽培・収穫活動など体験を通じた食育を推進し、食べ物の大切さや生産者への感謝の気持ちを育てた。</li> <li>(4)給食だより等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布したりして、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</li> <li>(5)各種会議・研修会の開催<br/>献立作成会議、調理師研修会(市内・市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</li> <li>(6)放射性物質検査の実施</li> <li>(7)寒河江産農産物を使用したカット冷凍野菜の商品化</li> <li>(8)小学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂</li> </ul> |
|--|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)寒河江産農産物を使用したカット冷凍野菜(かぼちゃ・小松菜・ほうれん草)の商品化を進めた結果、平成28年度小学校給食における地産地消の割合が増加した。県産率 28.6%(H27 25.1%) 寒河江産率 5.3%(H27 4.4%)</li> <li>(2)小学校給食における食物アレルギー対応マニュアルを改訂し、全小学校においてアレルギーに対する認識を共有したことで、安全安心な給食を提供することが出来た。</li> </ul> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止  |
| 今後の対応 | <p>平成29年度の給食費から助成を開始する。</p> <p>(1)小学校給食費の半額を助成<br/>小学校給食費単価を見直し、給食内容を充実させますが、保護者が負担する給食費の半額を助成することで経済的負担を軽減する。</p> <p>(2)小学校の第3子以降の給食費は全額助成<br/>対象範囲を高校3年生までとして、小学校に在籍する児童が第3子以降に該当する場合は、その対象児童の給食費を全額助成する。</p> <p style="text-align: right;">(H29予算額108,012千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |  |       |              |
|--------------------|--|-------|--------------|
| 事業名                | 学校給食事業(中学校)  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系<br>教育振興計<br>画 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>4 食育の推進<br>豊かな心と命を育む食育の推進<br>地産地消の推進 | 予算科目  | 10 教育費       |
|                    |  | 項     | 3 中学校費       |
|                    |  | 目     | 2 学校保健費      |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し食育の充実を図る。 |
| 事業内容 | 全中学校において民設民営による給食センター方式で完全給食を実施する。  |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |         |    |         |     |         |
|-------|---------|----|---------|-----|---------|
| 当初予算額 | 180,810 | 合計 | 180,810 | 決算額 | 177,505 |
|-------|---------|----|---------|-----|---------|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1)「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(2)「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成し、食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</p> <p>(3)生産者との交流給食を実施し、生産者と生徒との結び付きを強めた。</p> <p>(4)給食だより等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシビを保護者や地域の方に配布するなど、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(5)各種会議・研修会の開催<br/>献立作成会議、調理師研修会(市内・市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>(6)放射性物質検査の実施</p> <p>(7)寒河江産農産物を使用したカット冷凍野菜の商品化</p> <p>(8)中学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂</p> |
|--|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1)寒河江産農産物を使用したカット冷凍野菜(かぼちゃ・小松菜・ほうれん草)の商品化を進めた結果、平成28年度中学校給食における地産地消の割合が増加した。県産率 55.6%(H27 50.9%) 寒河江産率 43.8%(H27 41.7%)</p> <p>(2)中学校給食における食物アレルギー対応マニュアルを改訂し、全中学校においてアレルギーに対する認識を共有したことで、安全安心な給食を提供することが出来た。</p> <p>(3)野菜生産者と生徒との交流給食や寒河江産農産物を多く使用したさがえのごっつお給食(年6回)の実施により、生徒や保護者の地元農産物に対する関心が深まってきているようである。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止                       |
| 今後の対応 | <p>平成29年度の給食費から助成を開始する。</p> <p>(1)中学校給食を充実させ、その分は市で負担する</p> <p>(2)中学校給食内容を充実させるが、充実させた分は市が負担することで、保護者の経済的負担は増えないようにする。</p> <p style="text-align: right;">(H29予算額189,224千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |  |       |                              |
|--------------------|--|-------|------------------------------|
| 事業名                | 市史編纂事業   | 所管課・係 | 生涯学習課<br>慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係    |
| 施策体系<br>教育振興計<br>画 | 【基本方針4】<br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進<br>ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>8 市史編纂費 |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 市史編纂専門員を配置し、歴史資料の収集、調査を行い、寒河江市の歴史と文化を後世に伝えいく。    |
| 事業内容 | (1)市史編纂専門員の配置<br>(2)郷土資料の収集、解説、研究<br>(3)市史等の編集発刊 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 6,148 | 補正額等 |  | 合計 | 6,148 | 決算額 | 5,567 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1)市史編纂委員会 8月19日 文化センター 出席委員8名 市史別編の編集・発刊等協議<br/> (2)寒河江市史編纂叢書 第85集「寒河江市内の念仏講資料」第86集「高屋村武田太右衛門家関係資料」の発刊<br/> (3)郷土資料展の開催 「通り過ぎた昭和の暮らし」 6月28日～7月10日 会場:図書館 約200名<br/> ギャラリートーク 6月28日 宇井啓氏<br/> (4)市史編さんだよりの市報掲載 毎月5日号</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1)市内の歴史文化資料の調査と、市史編纂叢書第85集第86集の発刊により、散逸・消失のおそれのある史料の保存・活用に繋がった。<br/> (2)郷土資料展では、戦後から昭和50年代の寒河江の様子を知る機会となり、本市の歴史と文化を後世に伝える役割を果たすことができた。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止                            |
| 今後の対応 | <p>(1)市史編纂委員会において策定した、市史編纂事業計画に基づいて発刊事業を進める。<br/> (2)市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員の協力の下、散逸・消失を防ぎ調査研究と普及を行う。<br/> (3)平成29年度は市史編纂叢書第87集を発刊し、市史別編「環境・考古編」の原稿執筆を進める。<br/> (H29予算 7,084千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |   |                  |         |        |
|--------|---|------------------|---------|--------|
| 事業名    | 埋蔵文化財調査事業   | 所管課・係            | 生涯学習課   |        |
| 施策体系   | <b>【基本方針4】</b><br>ふるさに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護<br>史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用 | 慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係 |         |        |
| 教育振興計画 |   | 予算科目             | 款       | 10 教育費 |
|        |   | 項                | 4 社会教育費 |        |
|        |   | 目                | 9 歴史文化費 |        |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 埋蔵文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識の高揚を図る。 |
| 事業内容 | (1)市内遺跡の調査等及び報告書の作成<br>(2)「埋蔵文化財フェア」の開催        |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |      |    |       |     |       |
|-------|-------|------|------|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 3,134 | 補正額等 | △ 38 | 合計 | 3,096 | 決算額 | 2,856 |
|-------|-------|------|------|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| (1)埋蔵文化財フェア「平塩熊野神社 経塚の世界」7月23日～8月11日 市美術館 358人<br>(2)同上講演会 7月23日 國學院大學教授 青木豊氏「平塩熊野神社境内地経塚 経塚築造とその時代」 47人<br>(3)発掘調査<br>①柴橋陣屋跡 4月25日～5月2日<br>②高瀬山遺跡 8月29日<br>③上の寺遺跡 11月24日～25日<br>④慈恩寺蓮池遺跡 12月13日～14日<br>(4)工事立会<br>①日和田遺跡 9月23日～10月8日 11月15日～17日 1月10日<br>②史跡慈恩寺旧境内(旧竹内坊屋敷跡) 10月17日 |
|---|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1)上の寺遺跡や慈恩寺蓮池遺跡の調査を実施し、遺跡の構造を知る新たな資料等を得ることができた。柴橋陣屋跡では古代にさかのぼる地域の歴史資料を、日和田遺跡の工事立会では集落跡としてのさらなる資料を得た。<br>(2)埋蔵文化財フェアでは、平塩熊野神社境内地経塚をはじめ、県内の経塚資料を展示し、市民の考古・歴史学習に資した。考古資料を通して寒河江の豊かな歴史に対する認識が高まり、市民に誇りと自信を付与する目的が達せられた。 |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | (1)慈恩寺文化の解明のため、慈恩寺調査検討委員会で協議し計画的に発掘調査を行っていく。<br>(2)市内遺跡における工事に随時対応する。<br>(3)遺跡の価値について、市民に広く周知していく。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |  |       |                           |        |
|--------|--|-------|---------------------------|--------|
| 事業名    | 郷土館保存事業  | 所管課・係 | 生涯学習課<br>慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係 |        |
| 施策体系   | 【基本方針4】<br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切にしている活動の推進<br>ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 | 予算科目  | 款                         | 10 教育費 |
| 教育振興計画 |  | 項     | 4                         | 社会教育費  |
|        |  | 目     | 9                         | 歴史文化費  |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 県指定有形文化財である、旧西村山郡役所・郡会議事堂の保存を図るとともに、郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図る。            |
| 事業内容 | (1) 郷土館の維持管理<br>(2) 郡制時代をテーマに資料館として一般開放<br>(3) 旧西村山郡役所保存修理<br>(4) 郷土館特別展の開催 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 8,178 | 補正額等 |  | 合計 | 8,178 | 決算額 | 7,924 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1) 県指定有形文化財である建物の維持管理<br/>施設維持管理等業務委託(9件) 1,523,093円</p> <p>(2) 郷土館一般公開 入館者数1,531人<br/>4月9日～11月13日の土・日・祝日(4月16日～5月31日桜まつり・つつじまつり期間、8月1日～14日夏休み特別開館)<br/>郷土学習対応 6月23日高松小学校 7月12日陵南中学校 9月16日寒河江中部小学校 9月30日柴橋小学校<br/>10月6日醍醐小学校 10月11日南部小学校</p> <p>(3) 郷土館特別展の開催「石塔にみる庶民の祈り」 9月16日～10月17日 入館者363名</p> <p>(4) 同記念講演 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:45名</p> <p>(5) 旧西村山郡役所保存修理(壁塗替え工事、バルコニー手摺修理工事) 5,994千円</p> <p>(6) 郷土館運営協議会の開催 10月12日 郷土館 4名 H27事業報告・H28事業計画等</p> <p>(7) 安孫子春悦氏こけしコレクション常設展示</p> <p>(8) 稲作農具の配置換え</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1)施設維持管理等の業務委託や傷んでいた旧西村山郡役所の壁塗替え工事等を実施し、県指定有形文化財である建物の適正な維持管理に努めた。</p> <p>(2)郷土館特別展では、市内のかつての信仰の様相を知る機会となり、市民の歴史・文化に対する理解を深め郷土史学習に資するものとなった。</p> <p>(3)市民や小学校児童の郷土学習の場としても、有効に活用されている。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | (1)県指定有形文化財である建物の維持管理を適正に保存していく。<br>(2)歴史資料等を整理し特別展等を開催することにより、郷土を学ぶ環境づくりにつとめ、集客の向上につないでいく。<br>(3)桜まつりとタイアップする等、観光客の受入体制を整える。                            |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |  |       |                              |
|------|--|-------|------------------------------|
| 事業名  | 史跡慈恩寺旧境内総合調査事業   | 所管課・係 | 生涯学習課<br>慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係    |
| 施策体系 | 【基本方針4】<br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進<br>史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用 | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>9 歴史文化費 |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | (1)国史跡として指定された慈恩寺文化の研究と、市民への周知を図り、地域の活性化を図る。<br>(2)保存活用計画策定に向けた、調査・研究等。             |
| 事業内容 | (1) 史跡慈恩寺旧境内保存活用計画策定<br>(2) 慈恩寺講演会・行事研究会の開催<br>(3) 慈恩寺文化財調査<br>(4) 国史跡「慈恩寺旧境内」広報・普及 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 5,390 | 補正額等 |  | 合計 | 5,390 | 決算額 | 3,859 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1)史跡慈恩寺旧境内保存活用計画策定に向けての委員会の開催</p> <p>①7月 6日 文化センター 視点場について<br/>② 8月24日 文化センター 保存整備と活用整備の内容について<br/>③10月19日 文化センター 活用、整備、運営体制について<br/>④1月25日 文化センター 『史跡慈恩寺旧境内保存活用計画書』総括</p> <p>(2)史跡慈恩寺旧境内保存活用計画策定に向けての地元説明会<br/>1月15日 活性化センター</p> <p>(3)慈恩寺講演会・行事研究会の開催</p> <p>①11月 6日 文化センター 慈恩寺講演会「修験と仏堂」 参加者80名<br/>②3月 4日 文化センター 慈恩寺行事研究会「平安時代の寺院法会について」 参加90名</p> <p>(4)慈恩寺文化財調査</p> <p>① 5月20日、8月5日 本堂落書調査<br/>② 8月8日～10日、1月16日～20日 本堂仏具調査<br/>③10月27日、3月22日 慈恩寺仏像調査<br/>④ 3月15～16日 本堂一切経調査<br/>⑤ 3月27日 関連建造物(八鍬鹿島神社)調査<br/>⑥ 9月～1月 山業地区植生調査</p> <p>(5)国史跡「慈恩寺旧境内」広報・普及</p> <p>① 10月23日30日 修験の道ウォーキング<br/>②総合広報誌「慈恩寺Times」の発刊</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1)史跡慈恩寺旧境内保存活用策定委員会を開催し、平成27・28年度の2カ年で保存活用計画を策定した。(国庫補助事業)</p> <p>(2)県の「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業費補助金を活用しての文化財調査の実施や、慈恩寺講演会・慈恩寺行事研究会を開催した。歴史資料を発見・再確認し、今後の史跡活用に資するものとなった。</p> <p>(3)修験の道ウォーキングや慈恩寺Timesの発行など、広報・普及させる事業を行い、市民の史跡理解の促進に資するものとなった。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止  |
| 今後の対応 | <p>(1)史跡の整備に向け、平成29年度に整備基本計画を策定する。</p> <p>(2)慈恩寺文化を明らかにするため、引き続き調査・研究を行う。</p> <p>(3)慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画や、関係者等との連携を図り、慈恩寺文化財の保存・活用について事業を遂行していく。</p> <p>(4)ガイドダンス施設整備については、国・県等と調整しながら、早期実現に向けて進めていく。</p> <p style="text-align: right;">(H29予算 4,327千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

|        |  |       |                             |
|--------|--|-------|-----------------------------|
| 事業名    | 教育委員会事務局管理事業   | 所管課・係 | 学校教育課<br>教育総務係              |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する                | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>2 事務局費 |
| 教育振興計画 | 4 開かれた教育行政の推進<br><br>信頼に応える教育行政の推進<br>教育情報の公開と共有化の推進 |       |                             |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。   |
| 事業内容 | (1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務<br>(2) 教育功労、叙勲等に関する事務<br>(3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務<br>(4) 学校基本調査等各種調査に関する事務<br>(5) その他学校教育課内の庶務に関する事務 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |     |      |  |    |     |     |     |
|-------|-----|------|--|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 976 | 補正額等 |  | 合計 | 976 | 決算額 | 887 |
|-------|-----|------|--|----|-----|-----|-----|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃については、総務課法制担当と協議しながら調整し、教育委員会の議決を経て公布した。<br/>・規則及び規程の制定又は改正 5件</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・生存者叙勲 2件 ・死亡叙位 1件</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成27年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表した。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行した。</p> <p>(5) 平成27年度末で市内小中学校を最終勤務地として退職した教職員8名に対し、市長より感謝状を贈呈した。(平成28年5月実施) また、平成28年度からは当該年度末で市内小中学校を最終勤務地として退職した教職員14名について退職年度末に市長からの感謝状贈呈を行うこととした。(平成29年3月末実施)</p> <p>(6) 寒河江市総合教育会議の開催 ※平成28年度は2回開催</p> <p>【議題】<br/>○第1回:・本市の学力の状況とその取組について・いじめ問題の状況とその取組について・少子化に対応した教育行政について<br/>○第2回:・今年度の本市の教育について・これからの寒河江市の教育の推進について</p> <p>(7) 視察研修 ・東桜学館中学・高等学校(併設型中高一貫教育校) ・新庄市立荻野学園(施設一体型小中一貫校)</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| <p>(1) 教育事務の点検・評価については、外部評価委員の事務担当者へのヒアリングより、適切な意見をいただくことができた。</p> <p>(2) 総合教育会議を2回開催し、市長と教育委員会が議題に沿って意見交換を行い、教育に対する考え方について相互の理解・連携が図られた。</p> <p>(3) 視察研修は本市の今後の学校あり方について考えていくうえでの具体的事例として参考となった。</p> |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止                          |
| 今後の対応 | (1) 総合教育会議については、今後とも会議の持ち方を工夫し、市長と教育委員会との間でより活発な意見交換が図られるように努める。<br>(2) 教育委員に対しては本市の教育に関する情報提供をこれまで以上に積極的にいき、本市教育への理解を一層深めていただく。<br>(3) 少子化等に対応した、本市の将来的な学校の在り方について、引き続き調査検討していく。 |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|               |                                       |       |                |
|---------------|---------------------------------------|-------|----------------|
| 事業名           | 小学校管理事業                               | 所管課・係 | 学校教育課<br>教育総務係 |
| 施策体系<br>教育振興計 | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する | 予算科目  | 10 教育費         |
|               | 2 安全安心で充実した教育環境の整備<br>安全管理の徹底         | 項     | 2 小学校費         |
|               |                                       | 目     | 1 学校管理費        |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。 |
| 事業内容 | 小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理                            |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |         |      |       |    |         |     |         |
|-------|---------|------|-------|----|---------|-----|---------|
| 当初予算額 | 170,964 | 補正額等 | 5,600 | 合計 | 176,564 | 決算額 | 170,460 |
|-------|---------|------|-------|----|---------|-----|---------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1) 保守点検、施設管理業務委託等</p> <p>① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、FF暖房機点検清掃業務、ガス機器等点検業務、各小学校樹木剪定等 68件</p> <p>② 印刷機賃貸借 外</p> <p>(2) 修繕</p> <p>高松小給食室給水管腐食修繕、三泉小放送設備修繕、南部小プール給水管漏水修繕、醍醐小芝刈機修繕等 120件</p> <p>(3) 施設整備工事</p> <p>小学校低学年女子トイレ洋式便器増設工事、寒河江中部小暖房用ボイラー及び煙突更新工事、小学校FF暖房機更新工事、寒河江小特別支援学級整備工事、寒河江中部小6年教室照明増設工事等 59件</p> <p>(4) 備品整備</p> <p>椅子類、白岩小プールサイドマット購入 外</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| <p>(1) トイレ洋式化の推進について、和式では利用しにくい子どもが小学校低学年などにいるため、小学校低学年の女子トイレに洋式便器を増設し、利用しやすいトイレ環境の整備に努めた。</p> <p>(2) 学習環境の整備については、老朽化対策に特化することなく、学校環境衛生基準に基づき、照度不足が指摘された教室について照明器具の増設を行うなど、適切な学習環境の確保に努めた。</p> |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |   |
|-------|---|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止      |
| 今後の対応 | <p>(1) トイレ洋式化について、平成29年度は中高学年の女子トイレに洋式便器の増設を行い、給食室及び体育館の洋式化を新たな計画として推進していく。</p> <p>(2) 受変電設備は予防保全しなければならず、実用耐用年数を経過した設備を優先に計画的な更新を進めていく。(H29予算 186,440千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                   |  |       |                |
|-------------------|--|-------|----------------|
| 事業名               | 中学校管理事業  | 所管課・係 | 学校教育課<br>教育総務係 |
| 施策体系<br>〔教育振興計 画〕 | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する<br>2 安全安心で充実した教育環境の整備<br>安全管理の徹底 | 予算科目  | 10 教育費         |
|                   |  |       | 3 中学校費         |
|                   |  |       | 1 学校管理費        |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。 |
| 事業内容 | 中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理                            |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |        |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--------|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 62,485 | 補正額等 | 18,260 | 合計 | 80,745 | 決算額 | 75,818 |
|-------|--------|------|--------|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1) 保守点検、施設管理業務委託等</p> <p>① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、陵東中アスベストモニタリング業務、陵南中トイレ尿石除去業務、各中学校樹木剪定等 39件</p> <p>② 印刷機賃貸借 外</p> <p>(2) 修繕</p> <p>陵東中被服室フロアコンセント修繕、各中学校照明器具安定器交換、陵西中職員室ブラインド修繕等 66件</p> <p>(3) 施設整備工事</p> <p>中学校トイレ洋式化改修工事、陵南中校舎1階3年生教室等床たわみ修正工事、各中学校暖房ボイラー蒸気漏れ補修工事、陵東中西階段シートフロア張替工事等 29件</p> <p>(4) 備品整備</p> <p>椅子類、陵西中背負動噴購入 外</p> |
|--|

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| <p>(1) トイレ洋式化の推進について、教室棟各トイレの大便秘1ヶ所の洋式化改修が全中学校で完了し、生活様式や怪我への対応が可能となった。</p> <p>(2) 安全面の確保を最優先とした施設整備を目標としている。予定されたものの他にも、陵南中教室床が沈下したように、突発的で原因追及、工法選択、学習活動への影響など難しい対応を迫られる事案が発生したが、状況を正確に分析し早期に対応したことは、子どもたちの不安解消にもつながり、適時適切な整備を図ることができた。</p> |
|--|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | <p>(1) 平成29年度は、3年生教室及び特別支援教室にエアコンを設置し、学習効率の向上と健康維持を図っていく。</p> <p>(2) 受変電設備は予防保全しなければならず、実用耐用年数を経過した設備を優先に計画的な更新を進めていく。(H29予算 140,186千円)</p>              |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |  |       |              |
|------------------|--|-------|--------------|
| 事業名              | 学校保健事業(小学校)  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系<br>(教育振興計画) | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>3 健やかな体を育む取組の推進<br>元気に遊ぶ子どもの育成 | 予算科目  | 10 教育費       |
|                  |  | 項     | 2 小学校費       |
|                  |  | 目     | 2 学校保健費      |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。  |
| 事業内容 | 児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。<br>また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |  |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 18,205 | 補正額等 |  | 合計 | 18,205 | 決算額 | 17,209 |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|   |                   |          |        |
|---|-------------------|----------|--------|
| (1) 児童検診  |                   |          |        |
| ①身体計測・内科・眼科・歯科各検診   | 2,183名            | ④尿検査     | 2,182名 |
| ②耳鼻科検診  | 1,429名            | ⑤貧血検査    | 336名   |
| ③心電図検査  | 329名              |          |        |
| (2) 教職員検診   |                   |          |        |
| ①一般検診   | 170名(93.4%)       |          |        |
| ②大腸がん(40歳以上希望)  | 116名(73.4%)       |          |        |
| ③胃がん(40歳以上)   | 109名(70.0%)       |          |        |
| ※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。 |                   |          |        |
| (3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルギー)                                       |                   |          |        |
| (4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から)  | 受診対象者181名中受診者164名 | 受診率90.6% |        |

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| 児童及び教職員の健康維持増進と適切な学習環境の維持向上を図るため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 学校保健安全法を遵守し、児童及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |  |       |              |
|------------------|--|-------|--------------|
| 事業名              | 学校保健事業(中学校)  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系<br>(教育振興計画) | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>3 健やかな体を育む取組の推進<br>元気に遊ぶ子どもの育成 | 予算科目  | 10 教育費       |
|                  |  | 項     | 3 中学校費       |
|                  |  | 目     | 2 学校保健費      |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。  |
| 事業内容 | 生徒及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。<br>また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 8,569 | 補正額等 |  | 合計 | 8,569 | 決算額 | 7,876 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |             |        |        |
|---|-------------|--------|--------|
| (1) 生徒検診  |             |        |        |
| ① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診  | 1,221名      | ④ 尿検査  | 1,222名 |
| ② 耳鼻科検診   | 585名        | ⑤ 貧血検査 | 1,069名 |
| ③ 心電図検査   | 408名        |        |        |
| (2) 教職員検診   |             |        |        |
| ① 一般検診  | 88名 (94.6%) |        |        |
| ② 大腸がん(40歳以上希望)   | 54名 (80.6%) |        |        |
| ③ 胃がん(40歳以上)  | 47名 (70.1%) |        |        |
| ※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。 |             |        |        |
| (3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルギー)                                       |             |        |        |
| (4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者92名中受診者67名 受診率72.8%                 |             |        |        |

## 5. 事業の評価

|   |
|---|
| 生徒及び教職員の健康維持増進と適切な学習環境の維持向上を図るため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 |
|---|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 学校保健安全法を遵守し、生徒及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |   |       |              |
|------------------|---|-------|--------------|
| 事業名              | 教育振興事業(小学校)   | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系<br>〔教育振興計画〕 | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する<br>1 信頼される教育の推進<br>信頼される教育環境づくり | 予算科目  | 10 教育費       |
|                  |   | 項     | 2 小学校費       |
|                  |   | 目     | 3 教育振興費      |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。                  |
| 事業内容 | 学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |     |    |        |     |        |
|-------|--------|------|-----|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 14,790 | 補正額等 | △16 | 合計 | 14,774 | 決算額 | 14,321 |
|-------|--------|------|-----|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|   |           |
|---|-----------|
| (1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。 |           |
| ① 教材教具、図書等一般事業  | 13,071 千円 |
| ② 理科教育振興設備整備事業  | 1,250 千円  |

## 5. 事業の評価

|  |  |
|--|--|
| (1) 学校からの要望が多い学習活動に必要な消耗品や図書については、限られた予算の中で整備を進めた。             |  |
| (2) 理科備品については、各学校から要望を出してもらい国庫補助制度を活用して整備を行ったことで、指導内容の充実に繋がった。 |  |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 教材教具整備については出来る限り年度の早い時期に購入して、指導内容を充実させていく。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|            |                                       |       |              |
|------------|---------------------------------------|-------|--------------|
| 事業名        | 教育振興事業(中学校)                           | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系       | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する | 予算科目  | 10 教育費       |
| 教育振興計<br>画 | 1 信頼される教育の推進                          | 項     | 3 中学校費       |
|            | 信頼される教育環境づくり                          | 目     | 3 教育振興費      |

## 2. 事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業目的 | 学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。                  |
| 事業内容 | 学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |  |    |        |     |        |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 19,119 | 補正額等 |  | 合計 | 19,119 | 決算額 | 18,456 |
|-------|--------|------|--|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|   |           |
|---|-----------|
| (1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。 |           |
| ① 教材教具、図書等一般事業  | 10,160 千円 |
| ② 理科教育振興設備整備事業  | 585 千円    |
| (2) 教科書改訂に伴い、教師用教科書及び指導書を整備した。                        |           |
| ① 教師用教科書  | 129 千円    |
| ② 教師用指導書  | 7,582 千円  |

## 5. 事業の評価

|  |  |
|--|--|
| (1) 学校からの要望が多い学習活動に必要な消耗品や図書については、限られた予算の中で整備を進めた。             |  |
| (2) 理科備品については、各学校から要望を出してもらい国庫補助制度を活用して整備を行ったことで、指導内容の充実に繋がった。 |  |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 教材教具整備については出来る限り年度の早い時期に購入して、指導内容を充実させていく。   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                     |   |       |                             |
|---------------------|---|-------|-----------------------------|
| 事業名                 | 情報教育推進事業(小学校)   | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                |
| 施策体系<br>教育振興<br>計 画 | <b>【基本方針2】</b><br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進<br>ICTを活用した情報教育の推進 | 予算科目  | 10 教育費<br>2 小学校費<br>3 教育振興費 |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。       |
| 事業内容 | 小学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板機器の整備、充実を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |        |      |    |    |        |     |        |
|-------|--------|------|----|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 18,945 | 補正額等 | 16 | 合計 | 18,961 | 決算額 | 18,943 |
|-------|--------|------|----|----|--------|-----|--------|

## 4. 事業の実施状況

|                                |
|--------------------------------|
| 小学校のパソコン機器及び電子黒板機器のリース契約を継続した。 |
|--------------------------------|

## 5. 事業の評価

|                                      |
|--------------------------------------|
| パソコン機器や電子黒板機器が整備されたことで、情報教育の充実が図られた。 |
|--------------------------------------|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 教職員の校務用パソコン機器が導入から6年以上が経過して不具合が生じてきているため、3年計画のリース契約で整備を図っていく。(平成29年度から31年度まで・平成29年度は中学校分を整備)   |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                 |  |       |                             |
|-----------------|--|-------|-----------------------------|
| 事業名             | 情報教育推進事業(中学校)  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                |
| 施策体系<br>〔教育振興計〕 | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進<br>ICTを活用した情報教育の推進 | 予算科目  | 10 教育費<br>3 中学校費<br>3 教育振興費 |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。       |
| 事業内容 | 中学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板機器の整備、充実を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 9,129 | 補正額等 |  | 合計 | 9,129 | 決算額 | 8,863 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|   |
|---|
| <p>(1) 中学校のパソコン機器のリース契約を継続した。<br/> (2) 電子黒板機器については追加でリース契約を行ったことで、当初目標通りに、陵東中学校・陵南中学校は各階2台、陵西中学校については各階1台ずつが整備された。<br/> (3) 平成28年度電子黒板機器新規リース契約台数 陵東中3台・陵南中3台</p> |
|---|

## 5. 事業の評価

|                                      |
|--------------------------------------|
| パソコン機器や電子黒板機器が整備されたことで、情報教育の充実が図られた。 |
|--------------------------------------|

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止     |
| 今後の対応 | <p>教職員の校務用パソコン機器が導入から6年以上が経過して不具合が生じてきているため、3年計画のリース契約で整備を図っていく。<br/> (平成29年度から31年度まで・平成29年度は中学校分を整備)</p> <p style="text-align: right;">(H29予算額12,511千円)</p> |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |  |       |              |
|--------------------|--|-------|--------------|
| 事業名                | スクールバス運行事業   | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係 |
| 施策体系<br>教育振興<br>計画 | <b>【基本方針2】</b><br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>1 学びの充実と確かな学力の育成<br>多様な学習環境づくり | 予算科目  | 10 教育費       |
|                    |  | 項     | 1 教育総務費      |
|                    |  | 目     | 3 教育指導援助費    |

## 2. 事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業目的 | 遠距離通学を余儀なくされている幸生・田代地区の児童生徒の就学機会を確保する。  |
| 事業内容 | スクールバスの運行业務を市内タクシー会社に委託し、幸生・田代地区の児童生徒の登下校時の送迎を行う。<br>また、しらいわ保育所に通所する幸生・田代地区の児童の送迎を行うとともに、小中学校の校外学習活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|       |       |      |  |    |       |     |       |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 6,817 | 補正額等 |  | 合計 | 6,817 | 決算額 | 6,565 |
|-------|-------|------|--|----|-------|-----|-------|

## 4. 事業の実施状況

|          |  |
|----------|--|
| (1) 利用者  | 陵西中学校 11名 (幸生地区 3名・田代地区 8名)<br>白岩小学校 7名 (田代地区 7名)<br>しらいわ保育所 6名 (幸生地区 6名)  |
| (2) 運行状況 | 陵西中学校・白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎 (延べ465日)<br>自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用 (延べ105日)<br>陵西中学校の部活動等での利用 (延べ 25日)<br>ふるさと学習での利用 (延べ8日) 慈恩寺6日・老人ホーム2日 |

## 5. 事業の評価

|  |
|--|
| (1) 各小中学校から校外学習活動や部活動以外でも利用拡大ニーズが増えてきているが、可能な限り対応した。(熊出没時における運行など) |
| (2) 平成28年度からふるさと学習支援事業の移動手段として活用したことにより、徒歩での活動範囲に比べて、様々な活動が可能になった。 |

## 6. 今後の対応等

|       |  |
|-------|--|
| 方向性   | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 各小中学校からの利用の要望に可能な限り対応するとともに、事故のないよう運行业務委託業者に指導を行う。   |

---

---

平成 2 9 年 8 月

寒河江市教育委員会

|       | 学 校 教 育 課                          | 生 涯 学 習 課                        |
|-------|------------------------------------|----------------------------------|
| 所 在   | 〒991-8601<br>山形県寒河江市中央一丁目 9 番 45 号 | 〒991-0003<br>山形県寒河江市大字西根字石川西 333 |
| T E L | 0237-86-2111 (代表)                  | 0237-86-5111                     |
| F A X | 0237-86-8691                       | 0237-86-2201                     |
| Email | kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp   | shogaku@city.sagae.yamagata.jp   |

---

---